

O D e c k

| Impress Digital Magazine

| 電子出版イノベーションのビジネス実践誌

07

vol.

2011

06

09


impress
R&D
An Impress
Group Company

目次

編集長ナビゲーション	3
ピックアップニュース 電流協がセミナーを開催、電子出版の未来を語る	5
ピックアップニュース インターネット・アーカイブ創設者 プリュースター・ケール氏講演会	8
ピックアップニュース IDPF Digital Book 2011 レポート	12
新刊紹介 本日発売！「米国電子書籍ビジネス調査報告書 2011」	19
5分でわかる電子書籍関連ニュース	21
連載 電子出版ビジネス批評【第6回】 米国のインターネット広告売上、再び上昇気流に乗る	30
今週の用語	32
特集 EPUB3 の実力 EPUB が注目される理由	35
特集 EPUB3 の実力 EPUB3 で進化した仕様をみる	38
特集 EPUB3 の実力 OnDeck 誌面でみる EPUB3 の効果	42
特集 EPUB3 の実力 EPUB3 が抱える課題	44
編集部からのお知らせ	46
出版社インタビュー【第6回】 新潮社	47
デバイスレビュー【第7回】 Optimus Pad L-06C (NTT ドコモ)	51
ビューワレビュー【第6回】 Kindle 3.1 (Amazon.com)	57
OnDeck 実証実験 世界初！EPUB から自動組版で出版レベルの PDF を作成する	66
連載 黒船特許の正体【第5回】 アプリケーションのインテリジェントなダウンロード	68
連載 EPUB の国際規格化ライブメモ【第7回】 EPUB3 の成就是改善プロセスの始まり	71
連載 US 電子読書風景【第7回】 ファストペンシルで電子写真集づくり	73
連載 Innovation from Internet【第7回】 Together	75
新刊紹介 電子出版への道-OnDeck アーカイブ Vol.1-絶賛発売中	77
電子書籍新刊情報	80



編集長ナビゲーション

2011年6月8日
井芹昌信

今号の一番の見所は EPUB3 の特集です。昨年から世界的に注目されていた EPUB3 の最終仕様が、5月23日に IDPF から発表されました。本誌は EPUB をメインフォーマットに採用していますので、編集部も 1 ユーザーとして待ち望んでいたことです。EPUB3 は日本では縦書き、ルビなどの日本語表現に話題が集中していますが、発表現場となった米国では、ビデオや音声などのリッチメディア化に注目が集まったとのこと。今回は速報として、主に EPUB3 で拡張された仕様を中心に解説しています。

それともう 1 つ、「OnDeck 実証実験」コーナーで発表している「EPUB から自動組版で出版レベルの PDF を作成する」にも注目してほしい。これが実用化されれば、EPUB から本格的出版への道が開け、Web 世界と出版世界がつながります。

特集 EPUB3 の実力

- ・ EPUB が注目される理由
- ・ EPUB3 で進化した仕様をみる
- ・ OnDeck 誌面でみる EPUB3 の効果
- ・ EPUB3 が抱える課題

米国 IDPF Digital Book 2011 レポート

EPUB3 が発表された現場となった同イベントの視察記事。

アマゾン、アップル、グーグルの発表内容を含め、激動する米国の電子出版プレーヤーの動向を最新数字とともにレポートした。

インターネット・アーカイブ創設者 ケール氏講演

インターネット・アーカイブは世界中の書籍を無料でアクセスできる電子図書館のような「Open Library」構想を推進しており、現在までに 800 万点をアーカイブしている。移動図書館である「The Bookmobile」カーは必見！

OnDeck 実証実験 「EPUB から自動組版で出版レベルの PDF を作成する」

EPUB で書かれている本誌の原稿ファイルを、組版ソフトとして長年の実績がある「TeX」を使って B5 判 2 段組の誌面に自動組版させた。

その品質に注目してほしい。

出版社インタビュー 新潮社

「全点配信」と「全プラットフォーム対応」を方針決定し、全編集者への電子化教育も実施している同社の本気度を聞いた。

デバイスレビュー：Optimus Pad (NTT ドコモ)

いよいよ Android の Pad が発売され始めた。iPad や GALAXY Tab との比較でその使用感をテストしてみた。

ビューワレビュー：Kindle3.1 (Amazon.com)

アマゾンの第三世代電子書籍端末「Kindle3」に内蔵されているビューワソフトのレビュー。現時点で最も完成度の高いと言われる電子書籍ビューワの機能を分析している。

今週の用語

ロイヤルティ/リジェクト/フェアユース

連載

-黒船特許の正体 「アプリケーションのインテリジェントなダウンロード」 App Store にも使われている、デバイスに応じてアプリのダウンロードをさせるための特許。

-EPUB の国際規格化ライブメモ 「EPUB3 の成成は改善プロセスの始まり」 今回の EPUB3 の発表で大きなマイルストーンを迎えたわけ

だが、標準化作業はまだ終わりではないとのことだ。

-US 電子読書風景 「ファストペンシルで電子写真集づくり」 本誌初紹介のソーシャル・パブリッシングサービス。素朴にレポートされているが同サービスの奥は深いと見た。

-Innovation from Internet 「Togetter」 ツイッターの発言をまとめる Web サービス。「まとめ」は編集の本質の 1 つでもあり、今後の発展に期待したい。

ご意見・ご感想があれば、ぜひお聞かせください。

mail:on-deck-info@impress.co.jp

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

ピックアップニュース

電流協がセミナーを開催、電子出版の未来を語る

text : 編集部
2011年5月18日

電子出版制作・流通協議会（以下、電流協）は2011年5月18日、「電流協が考える電子出版の未来像」と題した会員企業向けのセミナーを開催。2つのセッションで構成され、「制作の視点から見た理想的なフォーマットとプラットフォーム」は、電流協の技術委員会 委員長である植村八潮氏（東京電機大学出版局 局長）がコーディネーターを、「電子出版ビジネスモデルのあるべき姿」は、電流協の流通委員会 委員長である岸博幸氏（慶應義塾大学大学院教授）がコーディネーターを務めて行われた。

電子出版では紙の表現方法からの脱却を

最初のセッションでは、電子出版に求められるフォーマットやプラットフォームについて議論が交わされた。



植村八潮氏（東京電機大学出版局 局長）

デバイスのサイズについて、シャープの花田氏は、「専用端末の GALAPAGOS では、10.8 インチと 5.5 インチというサイズ選びには大きくこだわった」と説明する一方、「スマートフォンでは画面のアスペクト比がバラバラであり、専用端末のようなこだわりがもてなかった」と紹介。また、フォーマットごとに表現内容やユーザー体験が異なることも説明した。

電子出版では「ワンソースマルチユース」がキーワードとなっている。紙と同じデータを電子でも利用することで、効率的な出版を目指すものであるが、凸版印刷の松林氏は、「弊社では“凸版 XML フォーマット”という独自の中

間フォーマットを用意することで、InDesign や XMDF に変換できるワークフローを確立している。とはいえ、修正を変換後のフォーマット上で行いがちで、結果としてワンソースにはならない」と、ワンソースマルチユースを実現するのはまだまだ難しいのが現状だ。

大日本印刷の新堀氏も、マルチデバイスやマルチフォーマットに対応することは大変なことだと述べ、「いかにコストをかけずにぎゅぐゅと読めるものを作るかが電子出版には大切なこと。紙の表現を電子で求めないことも大切だ」と、印刷と同等の組版を電子出版で求めないことの重要性があらためて紹介された。

OnDeck の編集長でもある井芹氏は、「出版社にとって、(紙の出版物で一般的な) レイアウトをするかしないかは大きな問題。そういう意味では、EPUB というフォーマットを出版社が採用するには、大きな意識変革が求められるもの。OnDeck を発行するにあたり、レイアウトを放棄したことで新たな価値が得られた」と、OnDeck の発行により紙の出版物と同じ発想から脱却することの価値を強調した。

植村委員長は最後に、「今日の議論で明確になったのは、ワークフロー自体が整備できてないという問題ではないか。電流協では、ガイドラインの整備が今年のテーマとなっている。ガイドラインが整備されることで、制作会社も印刷会社も使え、また誰でも参加可能な流れを作ることできるだろう」と、電流協での今年度の活動方針を発表し、セッションを締めくくった。



左より、株式会社インプレス R & D 代表取締役社長の井芹昌信氏、シャープ株式会社 ネットワークサービス事業推進本部 ネットワークサービス推進センター コンテンツシステム開発室 室長の花田恵太郎氏、凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 デジタルコンテンツソリューションセンター 技術開発部 部長の松林繁樹氏、大日本印刷株式会社 情報コミュニケーション研究開発センター 出版メディア研究所 所長 主席研究員の新堀英二氏

日本の文化を生かした電子出版ビジネスモデルを

続くセッションでは、電子出版のビジネスモデルに関し、議論が交わされた。



岸博幸氏（慶應義塾大学大学院教授）

まず、テーマに挙がったのが、日本の電子出版ビジネスに適しているモデルは垂直統合モデルなのか、水平分業モデルなのか。「米国ではパワーのある会社が垂直展開しているが、日本のように従来モデルの拡大であれば、水平分業になるのではないか」（電通総研の美和氏）、「ソニーは米国では垂直統合で展開したが、日本で

はさまざまな力を借りた方がいいと判断し、水平分業で進めている」(ブックリスタの今野氏)といった意見が出るなど、垂直統合よりも水平分業が日本には適しているのではないかという意見が多数を占めた。

電子書店を運営する両社に今後みずからコンテンツを作るのかどうかを尋ねたところ、「自分たちでコンテンツを作ることは考えていない。作家自身で出版できるといわれているが、やはり編集者の力なしに書ける作家は少ない」(トゥ・ディファクトの小城氏)、「売れるコンテンツを出版社に提供することはあるかもしれないが、みずからコンテンツを作ることはない。出版社と密にやっていくのがいい」(今野氏)と、両社とも独自コンテンツを手がける考えがないとした。

一方、リアル書店が身近な存在である日本では、リアル書店を活用することも大切だ。リアル書店との融合を目指す小城氏は、「ネット書店の場合、統計的に処理されたレコメンド機能があるものの、正直つまらないことが多い。これに対し、リアル書店はさまざまな展開が可能であり、販促面での機能がしっかりしている。電子出版でもこれを生かさない手はない」と強調。今野氏も、「確かに今のレコメンドはつまらない。やはり人力はいい(笑)」と、人手の入った告知手段の重要性に理解を示した。

ネットの視点で見た場合、ソーシャルメディアも重要になると、OnDeck シニアジャーナリストでクリエイションの高木氏が紹介。「OnDeck の特別号として世界の“絆”グラフを作成したが、Twitter といったソーシャルメディアの重要性をあらためて実感した。気配りで対抗できるような、日本的なソーシャルメディアが出てきてもいいのではないかと、日本らしさを生かしたサービスへの期待を表した。

また、全世界にいる日本人も顧客とするべきと高木氏は強調する。「世界の“絆”グラフで全世界にいる日本人の皆さんとやりとりしたが、こうした人も電子出版の顧客になりうるとおもった。こうした人たちをマーケットにすることも考えてほしい」と述べた。

岸委員長は最後に、「出版ビジネスは出版文化を支えるもの。(電子出版は) 昨年から話題となっているが、3.11 でパラダイムシフトしなければいけない流れになっているのは明らか。今度どういう展開になるかわからないが、単純に市場が大きくなるだけではだめで、出版文化を維持し拡大するものでなければならない」と述べ、セッションを締めくくった。



左より、株式会社クリエイション代表取締役の高木利弘氏、株式会社ブックリスタ代表取締役社長の今野敏博氏、株式会社トゥ・ディファクト代表取締役社長の小城武彦氏、株式会社電通 電通総研インサイト・センター テクノロジーイノベーション部 主任研究員の美和晃氏

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

ピックアップニュース

インターネット・アーカイブ創設者 ブリュースター・ケール氏講演会

text: 編集部
2011年5月24日

2011年5月24日、インターネット・アーカイブ（以下、IA）創設者のブリュースター・ケール氏の講演会「あらゆる知識へのユニバーサルアクセス—誰もが自由に情報アクセスできることを目指して」が国立国会図書館・東京本館の新館講堂で開催された。Webサイトをはじめ、動画や音楽、書籍などあらゆるコンテンツの電子化を行うデジタル図書館構想や移動図書館プロジェクト「The Bookmobile」などの活動が紹介され、後半は長尾真館長と愛知大学の時実象一教授の参加による鼎談が行われた。



インターネット・アーカイブ創設者 ブリュースター・ケール氏

巨大なデジタル図書館への道

ケール氏が1996年にIAを設立した目的は、全ての人にあらゆる知識へアクセスできる環境を構築することであった。その活動の第一は、「WayBackMachine」という全世界の膨大なWebページをアーカイブし、誰もが無料で過去にさかのぼって閲覧できるサービスである。



米国サンフランシスコにあるインターネット・アーカイブ（ボイジャー「マガジン航」より）



Internet Archive (<http://www.archive.org/>)

そして、書籍に関しては、全世界の書籍情報に誰もが無料でアクセスできる「Open Library」というプロジェクトを進めている。このプロジェクトでは、カリフォルニア州立図書館をはじめ 150 館の公共・大学図書館等が協力しており、蔵書の電子化を受託しつつ、パブリックドメイン図書を人類全体で共有できるサービスも提供している。

現在、世界 5 カ国 24 カ所に IA のスキャン・センターがあり、そこで一日あたり約千冊の書籍のスキャンを行っている。1 冊あたりの作業コストは約 30 ドルであり、フォーマットは EPUB を採用している（資料によっては他のフォーマットもある）。

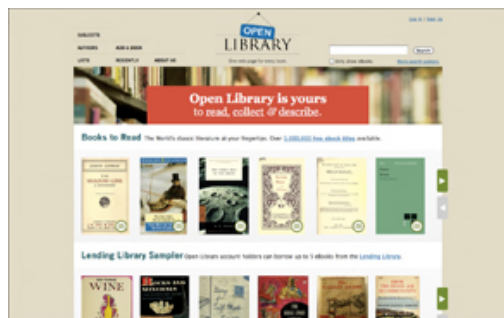
こうして電子化した書籍は 800 万点にものぼっている。

図書館のない場所に出かけてその場で本を印刷する

IA では、図書館のない地域に出かけ、2 万点のパブリックドメイン図書の中から読みたい本を印刷して読者に届ける「The Bookmobile」という活動も行っている。ワンボックスカーに、PC、衛星を通じてインターネットに接続する機器、プリントオンデマンド機器などを乗せて、現地に赴き、その場で読者のリクエストに応じて無料でオンデマンド印刷をして配布している。「The Bookmobile」は、2002 年に初の全米ツアーを行ったのを皮切りに、インドやエジプトなど世界に活動を広げている。



「The Bookmobile」プロジェクトのためのワンボックスカー



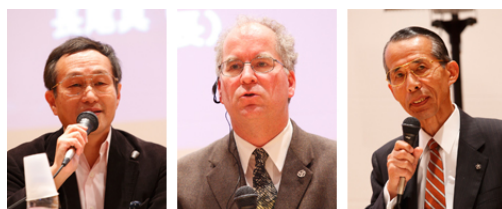
OPEN LIBRARY (<http://openlibrary.org/>)



「The Bookmobile」で配布している本を手を持つケール氏

ケール氏にとって知識を広める方法はデジタルか紙かという二者択一ではなく、より有用な方法を選択しているだけであり、より効率良く届ける方法としてデジタル化を選んだというのがよくわかる。

既存図書館でのデジタルデータの利用が始まっている



左から時実象一愛知大学教授、プリュースター・ケール氏、長尾真国立国会図書館館長

後半の鼎談は長尾真館長を司会役に、ケール氏と愛知大学の時実象一教授が参加者からの質問に回答する形で進行された。IAを創立した動機は？という質問に「コンピュータ関係の仕事をしている時にデジタル図書館の構想が浮かび、ストレージの開発やオープンソースの登場など技術的な可能性が見えたのでプロジェクトをスタートした」とケール氏が回答。「資金は企業からの寄付だけでなく、パートナー関係にある国立図書館の共同活動からも得ている」との話に長尾館長は「日本の図書館や情報システムにはない、米国ならではのダイナミズムを感じる」とコメント。それに対し時実教授からは日本でも同様のプロジェクトとして青空文庫の活動があることを紹介。「規模は異なるものの、日本で実験的に運営されている電子図書館では不可欠なコンテンツになっている」と述べた。

Googleのおかげでプロジェクトが加速？

IAと同様のプロジェクトとして知られるGoogle Booksとの関係についても話題は及んだ。ケール氏は商用化や一企業での独占を避けるという点で運営に大きな違いがあるとしつつも「目的は同じであり、強引な取り組みがIAの活動を勢いづけてくれた」としている。同様の影響は日本にもあったようで、長尾館長が「2

年前に著作権法が変わり、閲覧制限付きだが国立国会図書館は日本の出版物を許諾無しでデジタル化できるようになった」例を紹介した。

時実教授からは、今回の震災で被災した図書館に通常なら本を届けるところを、著者の許可を取ってFAXやPDFを送れるようにした例が紹介され「著作権については法律とは別に権利者と合意する方法があり、話し合いや相互の理解を深めることが重要ではないか」と述べた。ケール氏も「図書館は学ぶと同時に人類の財産である知識を集約する場であり、その意義を伝えるためにも考える前に集めないと、失われるロスのほうがはるかに大きい」とコメントし、アーカイブの必要性をより強く訴えた。



前半の講演終了後、ケール氏より国立国会図書館の長尾真館長へ、発災直後からの日本のWebサイトのアーカイブ・データが贈られた

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

国立国会図書館に託された東日本大震災の記録

講演の前半終了後、小さなセレモニーが行われた。IAの「Wayback Machine」で集められた東日本大震災以降の日本のWebサイトをアーカイブしたデータが、ケール氏より国立国会図書館の長尾真館長へ贈られたのである。長尾館長は、IAの活動への謝辞とともに「これをどう使うかは私たちのこれからの大きな課題である」と述べた。

ピックアップニュース

IDPF Digital Book 2011 レポート

text : 編集部
2011年6月1日



2011年5月23日から24日、IDPFが主催する「Digital Book 2011」がニューヨークで開催された。北米最大規模の出版物の見本市 BEA との共催で、1300 を超す展示と2万人を超すコンファレンス出席者を集めた。

「例年との一番の大きな違いは何か？」の質問に、IDPF 代表のビル・マッコイ氏は次のように答えた。

昨年より多くの来場者を迎え、展示する企業数が増えたことは、見ればわかる。しかし、これが一番大きな違いだとは思わない。一番大きな違いは、参加者の「切迫感」だ。

昨年までは、参加者は「いま何が起こってい

るのか」を知るのがやっとで、乗り遅れないために「何かしなきゃ」という漠然とした目標しか持っていなかった。

それが、今年のイベントでは、拡散していた目標のピン트가フォーカスされ、具体的な行動を起こしたことが大きな違いだ。2年前の電子出版が「If」なら、昨年は「When」で、今年は「Now」と言える。

EPUB3 の発表と次期 EPUB バージョンへのロードマップ

Digital Book 2011 では、IDPF が策定してい

た EPUB3 の最終仕様が発表された。広義では Richer Layout への対応が核だが、日本語等の縦書きやルビへの対応も含まれている。英語圏では、当然だが、日本語対応については関心は薄く、自由度が増したレイアウト表現と、リッチコンテンツへの対応度合いに注目が集まっていた。

具体的にはビデオやオーディオへの対応、埋め込み Font サポート、SVG サポート、JavaScript サポート、テキスト読み上げなどへの対応。

また EPUB3 は大規模なバージョンアップで、追加された機能も多岐に渡ることから、ビューワ側がすべての新機能を実装するのは困難との声も聞かれたが、新機能を歓迎する声も多数聞かれた。

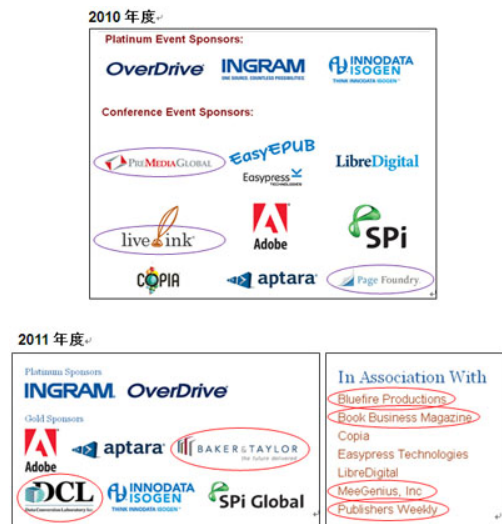
IDPF によれば、EPUB3 はひとつのマイルストーンで、今後、注釈、しおり、辞書対応、メタ拡張 (RDFa 対応) など、すでに次期バージョンの仕様策定がスタートしていることを明らかにした。

イベントスポンサーの推移

Digital Book 2011 イベントのスポンサーを 2010 年と比較すると下図となる。2011 年新たに加わった企業では、BAKER & TAYLOR 社と DCL 社が目立つ。BAKER & TAYLOR 社は INGRAM 社と並ぶ北米大手の取次。印刷本と電子出版物のほか、DVD など豊富に取り扱う。大学出版局向けオンデマンド印刷の PTO (Print To Order) も手がける。DCL 社は、米政府関連、製薬企業、図書館などのドキュメントの電子化を手がけるデータコンバートの古参。両社ともに電子出版事業に本格参入している。

Aptara 社と SPi Global 社は、インドに制作ラ

インを構え、北米の出版社の電子化プロセスを請け負う BPO (Business Process Outsourcing) 企業。SPi Global 社では、InDesign で制作された出版物の電子本へのコンバートを手がけ、その数は年間数百万ページに上る。



出版物のデータベース化が加速

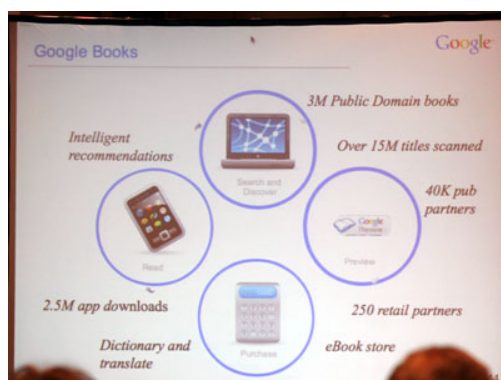
取次最大手の INGRAM 社は、2 万 2000 社の出版社と契約し、600 万タイトルをデータベース化。eBook 販売チャネルへの流通に加え、POD (Print On Demand) で紙の出版物としても流通させている。同社は POD の最大手でもあり、5 月 24 日時点での POD 累計販売部数は、1 億冊を超える。ネット書店最大手のアマゾンコムも、INGRAM 社経由で仕入れられている出版物が多い。米国では取次に印刷所の機能が内包する。

Google eBooks は、100 カ国 478 言語の 300 万タイトルのパブリックドメイン本に加え、7000 社の出版社を含む 4 万社とパートナー

契約した200万タイトルの有料電子出版物をデータベース化している。さらに、Googleが自前でスキャンした出版物は1500万冊に上る。「Google eBooks は取次か書店か？」の質問に、Google エンジニアは、API サービスだと言い切った。

Internet Archive は、283 万を超えるテキストコンテンツをデータベース化。現在、月間500 万回ダウンロードされている。また、レンディングプログラムには、EPUB と PDF 形式で10 万タイトルを提供。プロテクトをかけたDAISY フォーマットでは、15 万タイトルの電子本を提供している。

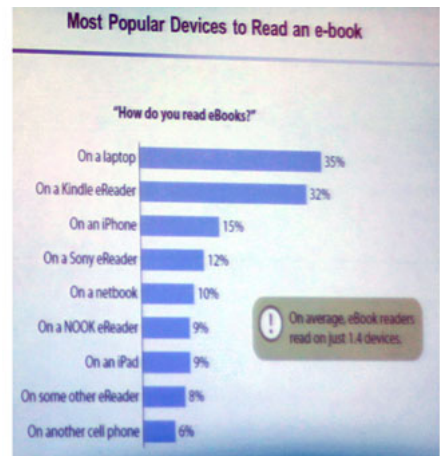
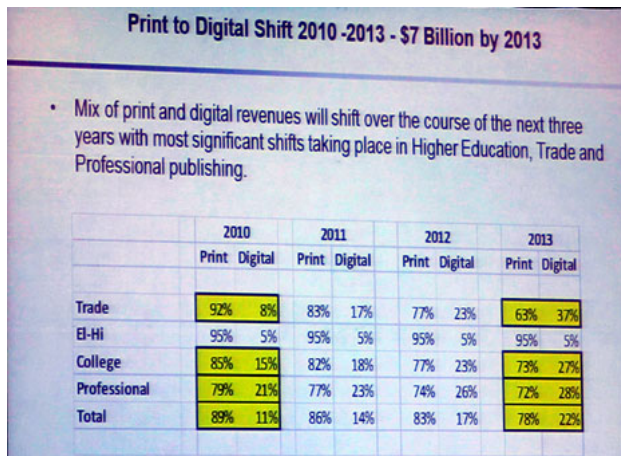
INGRAM 社は、マートでの販売と POD 販売を目的にデジタルデータの提供を呼びかけているのに対し、Google eBooks は、自前の先行投資でデータベース化を先に進め、Internet Archive は、ユーザーの善意でデジタルデータを蓄積し続けている違いがある。



Google eBooks の概要図

2013 年度のデジタル本市場は 70 億ドル

取次大手の BAKER & TAYLOR 社の調査によれば、北米で電子出版物を読む環境では、PC が 35 % でトップ。以下、Amazon Kindle が 32 %、iPhone が 15 %、SONY eReader が 12 %、netBOOK が 10 %、NOOK と iPad がともに 9 % と続いている。平均値で一人当たり 1.4 デバイスで読んでいるという。また、2010 年度で全売上の 11 % を占めている電子出版物が、2013 年には 22 % の 70 億ドルに達する試算も発表された。売上のジャンルでは、大学機関が 15 % から 27 % に、輸出が 8 % から 37 % と大幅に伸びると予想している。



読者の行動からニーズをいかに把握するか

展示ブースでは、出版社へのソリューション商品を提供する企業が多く見られた。米国の電子雑誌では、読者の読書行動をいかに記録し、広告販売や企画に役立てようとする動きが活発化している。大手雑誌出版社では、iPad アプリなどから、昨年秋に Adobe 社が買収したオムニチャのクラウドアプリケーションに読者の読書履歴を飛ばして、オムニチャ側から読者の行動を把握する手段が取られている。ちょうどウェブの普及段階で、サイトカタリストやウェブトレンドが急成長したことをほうふつとさせる。

現状ではオムニチャを利用するには、月額数百万円のランニングコストがかかるため、利用は大手の出版社に限られている。そこで出版社へのソリューション商品では、比較的安価にコンテンツの流通を請け負い、著名なマートや専用アプリでコンテンツを販売し、同時にクラウド上で読者の行動履歴を取得して、出版社に提供するものが多い。これらの企業は DAD (Digital Asset Distributor) と呼ばれる。クラウドのインフラは、アマゾン社のプラットフォームが

ベースになっているものがほとんどだった。

Amazon、Google、Apple の動き

出版社や著者が一堂に会す BEA/Digital Book 2011 のイベントで、Amazon、Google、Apple 3 社の動きを追った。展示会場には、Google が Google eBooks を、Amazon は Amazon Publishing を冠したブースを出した。Amazon Publishing では、2011 年 6 月から 12 月までの新刊紹介と、著者を招いてのサイン会が頻繁に行われた。また、別途に Amazon は 4 部屋、Apple は 1 部屋の常設ミーティングルームを設置した。

ミーティングルームは何に使ったか？ の質問に、Amazon は著者とのミーティングが一番多く、Apple は iBookstore の営業と、著者や出版社の囲い込みに余念がなかった。

Google eBooks は、3 つのコンファレンスを行なった。1 つ目は大手出版社のデジタル担当者を集めてのパネルディスカッション。モデレータは、Google eBooks の責任者のひとり Tom Turvey 氏が担当。2 つ目は米国内の 200 書店と提携したアンドロイド端末向けマートの紹介。すでに 200 万冊の電子書籍が無料で閲

覧できるという。3つ目のコンファレンスは、2004年にはじまった Google eBooks の7年間

にわたる開発ストーリーの紹介。次世代の電子出版物検索システムについての言及もあった。



左から時計回りに、Amazon Publishing のブース、Amazon の専用ミーティングルーム、Google のコンファレンス案内版、Apple iBookstore の専用ミーティングルーム

書店向けソリューション

BEA は、AAP（米国出版協会）、ABA（米国書店協会）、AAR（米国著者協会）が後援するイベントだが、ABA が主催するコンファレンスでは、書店のさまざまなサバイバルプランがテーマになっていた。なかでもソーシャルメディアをいかに活用するか、のコンファレンスには、多くの書店関係者が出席していた。

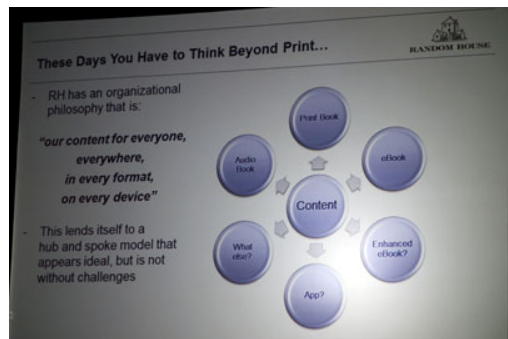
具体的には、書店がさまざまなリアルイベントを企画・開催し、ソーシャルメディアで情報を発信することで、集客に成功した書店経営者たちが集まったパネルディスカッションでは、さまざまな角度から多くの質問が続いた。

書店向けソリューションで注目すべきは、ゼロックス社と HP 社の POD システム。ゼロックス社は On Demand Books 社と協業して「Espresso Book Machine」をいち早く商品

化した。大学での教科書販売に加え、登録された電子出版物のデータベース（Google eBooks を含む）から、目的のコンテンツを見つけ出し、その場で POD で製本される。USB メモリで持ち込まれた自作のコンテンツも、その場で POD で製本される。Espresso Book Machine をフルシステムで導入すると、18 万 5000 ドルにソフトウェアライセンス 2 万 5000 ドル（5 年ライセンス）がかかる。基本料金＋印刷したページ数に応じた利用料も選べる。HP も同様のシステムを販売予定で、2011 年 6 月に発表予定という。



高い技術が無償で提供されている（ただより高いものはない）、標準化に時間がかかる、を挙げた。



マルチセールスを目指す出版社ランダムハウス

ランダムハウスは3M社の図書館向けシステム「3M Cloud Library」にコンテンツを提供することを決めた。ランダムハウスのデジタルコンテンツ戦略は、ワンソース・マルチユース（ワンソース・マルチセールス）で、ひとつのコンテンツを下記のように複数のコンテンツとして販売するワークフローを確立させる計画。

同社は出版社からの視点として、EPUB3に対して、「Good」と「Bad」を挙げた。良い点として、HTML5の採用でデザインがコントロールしやすい、映像と音を利用できる、インタラクティブの実現、縦組み対応を含め多言語対応が便利、MathML対応で教育コンテンツ制作ができる。

一方、悪い点として、リフローなのでページコントロールを捨てた世界に逆戻り、こなれるまでかなりのトライ・アンド・エラーが必要、

流通手数料と販売手数料を個別に管理する

従来、出版社が企画編集したコンテンツを、デザイン会社がメイキャップし、印刷所が印刷・製本。取次会社が流通を担当し、書店が販売するという分業化が進んでいた出版業界。電子化が進むに応じて、役割分担が多様化し、販売方法は多岐にわたる。

INGRAM社の事例では、書籍の販売を依頼すると、価格の55～60%で取り扱ってもらえる。支払いサイトは90日で、INGRAM社は書店からの返本リスクも取る。書店からの注文合計が1,500冊を超えるとオフセット印刷（ハードカバーでは750冊以上）の対象目安となり、満たない場合はPODで販売される。デジタルデータが無いものは、スキャンしてデジタル化してもらえが、別途1タイトル当たり75ドルの基本料金に、ページあたり25セントのコストがかかる。

売れた場合、販売先が電子マートなら該当す

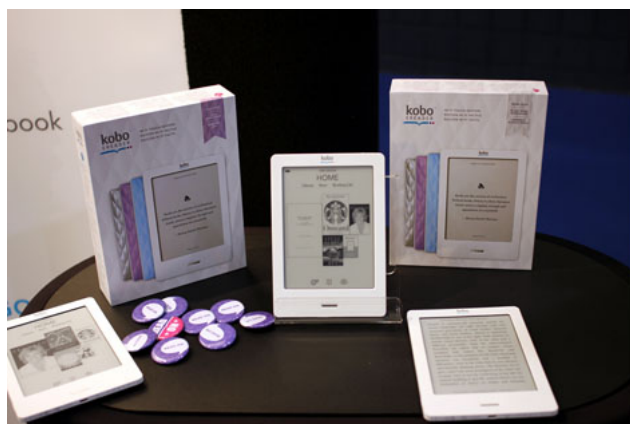
るマートでの販売手数料、書店なら該当する書店の販売手数料がかかる。版元側の原価計算では、流通手数料と販売手数料の2つの手数料を別々に管理する必要がある。

E-Ink ペーパー搭載リーダーは2011 年度2000 万台

BEA/Digital Book 2011 のイベントでは、読

書専用デバイスも多数展示された。なかでも KOBO の E-Ink ペーパーを採用した6 インチデバイスは、7 月に130 ドルで販売されると発表された。

Bayker & Tailer 社の調査では、2011 年度、読書専用端末は、総数で2000 万台販売されると予測されている。ほとんどが E-Ink ペーパーを採用したデバイスと目され、この数字には新型のキンドルの台数も含まれているようだ。



KOBO の最新読書専用リーダーは7 月に122.99 ドルで発売予定。右図では、タブレット PC と読書専用端末が急激に普及すると予測されている。

■ OnDeck 2011 年6 月9 日号掲載 ■

新刊紹介

本日発売！「米国電子書籍ビジネス調査報告書 2011」

日本を超える急成長を遂げた米国の電子書籍ビジネス



版)」(インプレス R & D 刊)の企画と編集にとりかかったのはいまからちょうど1年半前の2010年1月だった。当時は米アマゾン社と米出版大手6社(いわゆるビッグ6)の間では電子書籍の取引料率(ロイヤリティー)と販売価格決定権について激しい交渉が行われていた。その様子は日々の米国発の報道でも盛んに取り上げられていた。

また、2010年の春にタブレット型コンピューターであるiPadを発売することを発表していた米アップル社も、かつてのiTunesによる音楽ダウンロードビジネスでの新産業創出の成功を背景に、電子書籍をiPadのキラーコンテンツとすべく、出版社と交渉をしていることが報じられていた。特に、米アマゾン社と出版社の交渉が激しくなるなか、米アップル社は出版社に有利になると思われる条件をだして、交渉を有利にすすめようとしていた。

このようななか、我々が米国で開催される電子出版に関連するコンファレンス取材したり、米国出版社の方への取材依頼をしても、電子書籍に関する明確な将来性を述べられる人は少なく、取材に応じてもらえないことも多々あった。

電子書籍に自信を持った米国出版社の動向をチェック

「米国電子書籍産業調査報告書 2010(昨年度

しかし、この1年で様変わりをした。

約1年後の2011年1月には米アマゾン社の電子書籍の販売刷数がペーパーバックの販売刷数を15%抜き、ハードカバー、ペーパーバック、電子書籍という3つの書籍の形態の中でもっとも売れたものとなり、2011年5月には米アマゾン社の書籍売上のうち、プリント版書籍と電子書籍の販売刷数比率は100:105(プリント版100冊に対して、電子書籍105冊)と既存のメディアを追い越す売上となった。

2011年のはじめに開催されたいくつかの電子書籍関連のコンファレンスにも大手出版社の経営トップも登壇することが珍しくなくなり、この産業の成長に対するはつきりした自信をプレゼンテーションから感じることもできるようになった。

本格的なビジネス段階の米国出版産業を徹底調査

米国電子書籍ビジネスはこの1年で確実にビジネスとしての定着段階に入ったといってもよい状況となった。決して話題だけが先行しているわけではない。消費者も電子書籍の利便性や価格を受け入れているという調査結果もあり、今後はさらに消費者層の拡大、出版タイトルの増加、そして雑誌やマルチメディア商品との融合などが進むと思われる。さらに、電子書籍リーダーデバイスの急速な低価格化、アプリケーションをインストールできるような汎用機化、そしてソーシャルメディアとの関係の構築、出版社の役割の変化などが今後の着目すべきポイントといえるだろう。

また、米国の公共図書館で電子書籍をどのように貸し出すのかということや、コミュニティ

の中でどのように貸し借りを行うのかということも着目点である。もちろん、ヨーロッパをはじめとする商慣習や法も異なる米国以外の国でのビジネス展開も目が離せない。そのアジア市場のひとつが日本でもある。

このように激しく動いた米国電子書籍ビジネスをまとめたのが本年度版の「米国電子書籍ビジネス調査報告書2011」である。本書では昨年とは全く違う産業動向を見ることができる。また、日本でもいよいよ本格的なビジネス段階に進みつつある出版産業でのいくつかのヒントが含まれている。

米国電子書籍ビジネス調査報告書2011

インターネットメディア総合研究所 編

価格: CD (PDF) 版: 85,000 円 (税抜) / CD (PDF) + 冊子版: 95,000 円 (税抜)

URL: <http://r.impressrd.jp/iil/USEBook2011>

OnDeck_ad.20110609.impressrd

5分でわかる電子書籍関連ニュース

[2011年5月1日～6月2日]

text : 編集部

2011年6月7日

このコーナーではインターネット上にある日米を中心とする一般分野/専門分野の商業メディア、ブログメディア、コンテンツアグリゲートページ、主要企業のニュースリリースなど、約200サイトの記事を日々ウォッチし、電子書籍関連ニュースの流れを紹介する。

速報：アップル社のクラウドサービス「iCloud」発表

米アップル社は米国サンフランシスコで開催しているデベロッパーコンファレンス(WWDC)において、新しいクラウドサービス「iCloud」とiOS 5を今秋にリリースすることを発表した。

その中で電子書籍に関連する話題はおおまかには2つある。それはiCloudによるコンテンツの複数デバイスでの同期とiOSで提供される雑誌コンテンツの配信をサポートするNewsStandというサービスである。iCloudでは音楽コンテンツと同様に、購入した電子書籍コンテンツをクラウドで管理し、コンテンツとブックマークなどを複数のデバイスで同期させる機能を提供する。また、NewsStandは配信される定期購読雑誌などがあった場合にアイコンによって通知する機能を提供するものである。

さらに、iOSデバイスがPCやMacなどを使

用しなくても利用できるようになるというスタンドアロン化も行われ、今後はiOSデバイスのみで、PCやMacを持たないユーザーでも使いやすい環境へと向かっていく。

今回の発表によると米アップル社はクラウドプラットフォームに大きくかじを切り、さらにはコンテンツの利用における不便さを大きく改善していくように思える。詳細については後日レポートをしていきたい。

- ・「iCloud」では音楽のほかアプリや写真も同期、iOS 5とともに今秋から無料提供 (INTERNET Watch)
- ・「iOS 5」は今秋リリース、Twitter 統合、管理の“PCフリー”化など (INTERNET Watch)

さらに、米アップル社はこれまでのiTunesやAppStoreでの販売実績についての数字も発表した。その概要はつぎのとおり。

- ・iOS 端末の販売台数は2億台を突破した。
- ・モバイル端末のインストールベースのOSシェアで44%を占め、シェア第1位のモバイルOSであり、このうちの2500万台はiPadが占める。
- ・App Storeにはこれまで42万5000のアプリが登録された（このうち9万がiPad用のアプリケーション）。
- ・アプリケーションのダウンロード総数は140億回であった。
- ・アプリケーション開発者には合計25億ドルがこれまでに支払われた。
- ・iTunesには2億2500件のクレジットカード情報が登録されている。
- ・150億曲がiTunesで販売され、iBookは1億3000本がダウンロードされた。

事件・できごと

▼国内

国内のできごととしてはまだまだ震災に関わるものが多い。そのなかでも歴史的な資料をデジタルアーカイブ化していくという国会図書館と米インターネットアーカイブの協力・連携の発表は後世にこのできごとを伝え、将来の防災などの資料を残していくという意味で重要な取り組みといえるだろう。

- ・国会図書館、東日本大震災のウェブ資料保存でInternet Archiveと協力・連携（INTERNET Watch）
- ・日本ユニシスと日本図書館協会、「電子書籍を活用した東日本大震災復興支援サイト」を開設（eBookUSER）
- ・被災地向けに電子図書館サイト開設、配信する電子書籍を募集中（INTERNET Watch）

- ・震災後の事業継続と危機管理のノウハウがわかる電子書籍が期間限定で無料に（マイコミジャーナル）
- ・「男の隠れ家 特別編集 MONO シリーズ」電子雑誌版、売上の一部を義援金に（INTERNET Watch）
- ・被災者に無料で「ジャンプ」「サンデー」配信（毎日.jp）
- ・日本製紙 石巻工場の復旧に目処（Publishing News）

▼国際

2011年5月23日から米国ニューヨークで開催されたIDPF（International Digital Publishing Forum）取材のコンファレンスにおいてEPUB3が公開された。われわれ日本語を使う者にとっては日本語仕様が盛り込まれたものであり、今後はこれに準拠したブラウザの開発が急速に進んでいくものと思われる。また、それにもなつて、コンテンツの制作においてもEPUB3を使用しやすくなると期待されている。一方、ヨーロッパではフランス議会において電子書籍の再販制法が成立した。ヨーロッパ各国との矛盾やフランス国外のサーバーから配信されるコンテンツの扱いなど課題も残る。

[IDPF（業界団体）]

- ・EPUB 3、ファイナルは6月以降にずれ込む模様。ドラフト第3版公開（Publickey）
- ・ニューヨークで電子書籍コンファレンス「Digital Book 2011」が開幕、講談社・野間社長が日本の状況について講演（hon.jp Day-Watch）

[米国]

- ・作家 vs. 書店組合、出版社 vs. 作家エージェント、Kindle 上での個人出版台頭で米国の出版プレイヤーたちが同士討ち (hon.jp Day-Watch)
- ・米 NISO が電子書籍に関する研究会を発足、業界団体や知識人の参加を募集 (hon.jp Day-Watch)
- ・米電子書籍ビューワーアプリ開発会社、Apple 経由での電子書籍販売を断念「原因はエージェンシー・モデルと 30 % 課金」(hon.jp DayWatch)
- ・図書館を救え！～ALA 2011 (PublishersWeekly)

[ヨーロッパ]

- ・「印税条件はステップ式がいい」英国の作家エージェントたちに新しいトレンド、電子書籍時代に備えて (hon.jp DayWatch)
- ・「デジタル著作権取引所の設立を」英キャメロン首相の諮問委員会が最終報告書を提出 (hon.jp DayWatch)
- ・欧州初の電子書籍カンファレンス「World E-Reading Congress」が開催、大手出版社幹部たちが講演 (hon.jp DayWatch)
- ・仏議会で電子書籍再販制法が成立、他の欧州諸国と対立の懸念 (hon.jp DayWatch)
- ・仏出版社 3 社が米 Google を違法スキャンで提訴、総額 11 億円の損害賠償を請求 (hon.jp DayWatch)

新製品・新サービス

▼国内

日本においてアマゾン社が洋書のプリント・オン・デマンドによる生産と販売を開始したこ

とは大きなできごとといえるだろう。すでに米国内ではこうしたサービスは提供されてきたものだ。日本市場から見ると、書籍の需要からみて大量在庫をすることができないような洋書を注文ごとに生産できることはタイムリーに、かつ低コストで販売できる可能性がある。将来的には日本の出版社向けにも提供されることも期待され、これまではやむなく絶版になっていた書籍の復刊、または出版社にとっての過剰在庫の解消などに効果が期待される。すでに米国の技術系出版社として有名なオライリーメディア社はイングラム社との提携によってプリント・オン・デマンドによるプリントメディアの生産モデルの変更に取り組んでおり（前号にて既報）、具体的な成功事例の登場とともに世界的にも広まる可能性もある。

その他、ソーシャルメディアと電子書籍の関連付けのビジネス、図書印刷が開始すると報じられているプリント版書籍と電子書籍の横断的ポータルサイトなども今後に期待されるサービスが立ち上がりつつある。

[ハードウェア]

- ・2つのスタイルで利用できる薄型軽量タブレット PC「FMV LIFEBOOK TH」(eBookUSER)
- ・GALAPAGOS ホームモデル：シャープ (eBookUSER)
- ・GALAPAGOS モバイルモデル：シャープ (eBookUSER)
- ・NEC、2画面仕様の Android ブック端末「LifeTouch W」を製品化 (eBookUSER)
- ・Reader Pocket Edition：ソニー (eBookUSER)
- ・Reader Touch Edition：ソニー (eBookUSER)

- ・電子ペーパーも 300dpi に E Ink とエプソンが共同開発 (eBookUSER)

[ユーザー向けソフトウェア]

- ・電子書籍の未来の姿がインストールするだけで簡単に読める Chrome 拡張機能「青空縦書きリーダー」(ライフハッカー)
- ・「GALAPAGOS App for Smartphone」バージョンアップ、ウィジェット対応&操作性を改善 (eBookUSER)

[ユーザー向けウェブサービス]

- ・NTT ソルマーレ、コミック中心の Android 向け電子書店「地球書店」開設 (INTERNET Watch)
- ・「ビューン」が機能拡充、リジュームや新刊自動ダウンロードなど (IT メディアニュース)
- ・ネット上に散在する紙の本・電子書籍の情報集約、図書印刷がポータル開設へ (INTERNET Watch)
- ・図書館横断検索サイト「カーリル」のモバイル版公開 (INTERNET Watch)
- ・富士通の電子書籍ストアは「BooksV」(eBookUSER)
- ・新潮社「Shincho LIVE!」サイト公開に続き自社ホームページでも電子書籍の作品検索に対応 (hon.jp DayWatch)
- ・紀伊国屋の電子書籍サービス Kinoppy が iOS にも対応、コンテンツは Android と非互換 (Engadget)
- ・紀伊国屋書店、書籍と電子書籍の購入に使えるギフトカードを発売 (INTERNET Watch)
- ・購読した電子雑誌のページを Twitter でみんなに共有、「マガストア」に新機能 (INTER-

NET Watch)

[事業者向けソフトウェア/ソリューション]

- ・Amazon.co.jp が、プリント・オン・デマンド (POD) サービスをスタート (Publishing News)
- ・オンライン上で編集・制作の共同作業ができる本邦初の SaaS サービス「オンライン編集クラウド」(Publishing News)
- ・シーサー、電子出版サービス「fokrN」を開始 (eBookUSER)
- ・山と溪谷社、女性向けアウトドア誌デジタル版を Adobe の電子出版ツールで制作 (INTERNET Watch)

▼国際

米アマゾン社の Kindle と米バーンズ & ノーブル社の NOOK は低価格化での競争に突入した。また、NOOK や Kobo などタッチパネル化が進みつつあり、バッテリー持続時間とユーザー操作性での競争に移りつつあるようだ。また、セルフ出版プラットフォームを提供する DAD/DAM 事業者の 1 社である Book-Baby 社は著者向けのサービスである HostBaby を開始した。著者が自らのブログ、ユーザーコミュニティ、ソーシャルメディアなどを簡単に利用できるようにするものとされている。一方で、雑誌などのコンテンツビジネスとしては有料サービス化をするものの、なかなか決定打に乏しいようであり、ワイヤード誌はプリント版の購読者へは無料でデジタル版を提供するというような従来型モデルから抜け出せずにいるようだ。

[ハードウェア]

- ・ Barnes & Noble、タッチスクリーン搭載の新「NOOK」発表-35%軽く、15%薄く (CNET Japan)
- ・ アマゾンとバーンズアンドノーブルはバッテリー持続性で勝負! (eBookNewser)
- ・ ベンキュー、10.1型ワイド液晶を搭載したAndroid電子書籍リーダー「R100」(ITメディアニュース)
- ・ ライバル勢には負けられない、米Amazonが電子書籍端末「Kindle 3G」広告モデル版を164ドルで緊急発売 (hon.jp DayWatch)
- ・ 加Kobo社、IDEO社デザインの新型電子書籍端末「The Kobo Touch Edition」を発表 (hon.jp DayWatch)

[ユーザー向けソフトウェア]

- ・ Zinioの 안드로이드版が登場 (BookBee)
- ・ ポップアップ式検索ユーティリティ Aapture (eBook2.0Forum)
- ・ 米 Barnes & Nobles社が「NOOK for Android」アプリをアップデート、大画面にも対応する表示技術を内蔵 (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 New York Public Library、所蔵研究資料のiPad電子書籍アプリを無料で提供開始 (hon.jp DayWatch)

[ユーザー向けウェブサービス]

- ・ 米国のネットフリークたちの間で話題のオープンソース仮想通貨「BitCoin」、電子書籍販売サイトまで登場 (hon.jp DayWatch)
- ・ OverdriveとEvernoteがNookColorをに対応 (The Digital Reader)

[事業者向けソフトウェア/ソリューション]

- ・ BookBabyは著者向けのサービス HostBabyを立ち上げ (eBookNewser)
- ・ まるでFlashの感覚、2人の元Apple社員がHTML5アニメーション制作ツール「Hype」をMac用に発売 (hon.jp DayWatch)
- ・ オーディオブックでも個人出版を実現、米Audible.comが個人作家向けオーディオブック制作サービス「ACX」を公開 (hon.jp Day-Watch)
- ・ ソーシャルインテリジェンスを活用して記事執筆を支援するInbundWriter登場 (TechCrunch)
- ・ 米3M、クラウド型電子書籍貸し出しシステムを図書館向けに提供。Random House社が提携第1号に (hon.jp DayWatch)
- ・ 米Conde Nastが「The New Yorker」誌のiPadアプリ版を定期購読課金に対応、既存の定期購読者は無料に (hon.jp DayWatch)
- ・ 米LibreDigital、中小出版社向けにセルフサービス電子書籍制作プラットフォームの提供を開始 (hon.jp DayWatch)

[その他]

- ・ Bloomsburyは絶版タイトルのためのデジタルインプリントを立ち上げ (TeleRead)
- ・ ケンブリッジ大学出版はiPad用の教科書を再作成 (TeleRead)
- ・ Digital Manga Publishing (DMP) がGoogle Booksで読めるようになった (eBookNewser)
- ・ EctacoとHanvonが教科書用の電子書籍リーダーをリリース (TeleRead)

▼国内

デジタルガレージとメディアドゥの関係強化、パピレスとオプトの資本関係、角川とダウンゴの資本提携など、電子出版に関連する企業の戦略的提携が活発な1か月だった。これらをよく見ていくと、出版ビジネスとインターネットビジネスという異なるコアビジネスをもつ産業同士の資本提携であり、比較的保守的ともいえた出版産業側の変化を感じることができるともいえる。

- ・ Fujisan.co.jp、電子雑誌1冊買ったら1冊無料キャンペーン (eBookUSER)
- ・ デジタルガレージ、電子書籍コンテンツ配信大手メディアドゥとの関係を強化し、電子書籍事業への注力を加速 (Web 担当者フォーラム)
- ・ ドリームネット、wook のストア出店無料キャンペーン (eBookUSER)
- ・ パピレス、オプトの持分法適用関連会社に (eBookUSER)
- ・ 新潮社が「電子書籍 基本宣言」(Publishing News)
- ・ 日販、iPad 向け絵本アプリ「ABC のえほん」を発売、同時に電子書籍事業強化のためクリエイターズギルド社に出資 (hon.jp Day-Watch)
- ・ 角川とダウンゴ、株式交換により資本提携へ (INTERNET Watch)
- ・ 電子出版の実績を強調するアドビ-紙とデジタルを同時発行する事例も (CNET Japan)
- ・ 電子新聞「朝日新聞デジタル」、創刊3日目で購読申込者1万人達成 (INTERNET Watch)

▼国際

なんといっても大きなニュースは米アマゾン社の書籍売上の半分以上が電子書籍になったということだ。電子書籍の本格的なスタートからわずか1年あまりで急激に電子書籍のビジネスが成長した象徴といえることができる。また、アマゾン社は出版ブランド (インプリント) を増加させており、今後は書籍の販売のみならず、コンテンツの企画・開拓・ブランディング・マーケティングを総合的に行う戦略に向かいつつあるようだ。また、米バーンズ&ノブール社に対する買収提案をしているメディアシンジケートの噂も報じられており、今後の電子出版業界の大きな再編が起ころうる可能性もある。

[アマゾン]

- ・ 米 Amazon.com、Kindle 電子書籍の販売部数が紙の書籍を上回る (INTERNET Watch)
- ・ 米 Amazon、有名作家 Charlaiane Harris 氏を4人目の「100万部突破」電子書籍作家として認定 (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 Amazon、電子書籍端末「Kindle」シリーズを EPUB 対応にすることを大手出版社に通告 (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 Amazon、電子書籍/紙書籍の新レーベル「Montlake Romance」を今秋より刊行 (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 Amazon が電子書籍端末「Kindle」上で一部の日本製ボーイズラブ作品を削除、今後さらに規制を強化か (hon.jp DayWatch)

[アップル]

- ・ 「50%の読者が個人情報開示に同意」Apple社の定期購読課金に対し、大手雑誌社の態度が急速に軟化 (hon.jp DayWatch)

- ・ Apple 側が譲歩？ Time 社が紙雑誌の定期購読者に対して iPad 版を無料化することを明らかに (hon.jp DayWatch)

[グーグル]

- ・ [速報] グーグル、Web アプリのマネタイズを提供、わずか 5 % の決済手数料。Google I/O 2011 (Publickey)
- ・ 米 Google が新聞 OCR スキャンプロジェクトから撤退、「新プロジェクトに注力するため」 (hon.jp DayWatch)

[バーンズ & ノーブル]

- ・ 米 B & N の電子書籍リーダー「Nook」がついに世界展開へ - CEO が言及 (マイコミジャーナル)
- ・ Barnes & Noble に Liberty Media が買収提案？ 電子書籍が狙い (eBookUSER)
- ・ 米 Barnes & Nobles 社、電子書籍端末「NOOK Color」アプリのダウンロードが累計 100 万本を突破と発表 (hon.jp DayWatch)

[その他]

- ・ 中国 Hanvon 社、電子書籍端末が不調で第 1 四半期が赤字、重役 9 人に株インサイダー取引疑惑 (hon.jp DayWatch)
- ・ 中国・漢王の電子書籍端末に日本のコンテンツ配信進む (eBookUSER)
- ・ 意外な一手？ Apple 社への手数料支払いを迂回するため Bol.com が電子書籍アプリから書店リンクを排除 (hon.jp DayWatch)
- ・ 新局面迎える人気 iPad アプリ「Flipboard」、Forbes 誌や Oprah などと提携 (メディア・

パブ)

- ・ 米 3M グループ、ドイツの電子書籍ベンチャー txtr 社に出資 (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 Aptara が米 Inkning の電子教科書制作を受注、iPad 向けリッチメディア教科書を制作 (hon.jp DayWatch)

[出版社/出版業界]

- ・ Random House 英国法人が iBookstore で電子書籍をエージェンシー・モデルで発売、Kindle 版と価格差も (hon.jp DayWatch)
- ・ オライリー、自社電子書籍の DRM フリー化を宣言 (eBookUSER)
- ・ 仏 Lagardere (Hachette) が 2011 年第 1 四半期の業績を発表、米国内の電子書籍の販売は 88 % 増に (hon.jp DayWatch)
- ・ 米 Hachette Book Group 他、電子書籍等の紹介・販売サイト「Bookish」を今夏オープン。広告業務は米 AOL と提携 (hon.jp Day-Watch)
- ・ 米書店団体 ABA、プリント・オン・デマンド機「Espresso Book Machine」を会員各書店に販売・設置へ (hon.jp DayWatch)

市場規模/指標

▼国際

AAP (米国出版社協会) の定例の調査によると、米国内における 2011 年 3 月単月の電子書籍売上高は前年同期比 145 % 増の 56 億円になったという (出版社売上ベース)。また、英国の出版団体協会が 2010 年度市場統計を発表し、商用電子書籍の売上が 4 倍ペースで急成長しているという。日本でも大きな成長が見込まれると各種調査会社も発表をしているが、まだまだ

爆発的な普及には至っていない。英語圏で成功を収め、電子出版に関する経験値を高めた大手事業者が日本に乗り込んできたとき、果たして日本の電子出版業界はどのような対応が迫られるのか？

- ・ 200 ミリオン（2 億人）のアメリカ人が本を出版したがっているが、彼らにできるのか？（Publishers Perspectives）
- ・ AAP 発表、米国内における 3 月単月の電子書籍売上高は前年同期比 145 % 増の 56 億円に（hon.jp DayWatch）
- ・ Harry Potter シリーズ出版元の英 Bloomsbury が 2010 年度の業績を発表、電子書籍が急伸（hon.jp DayWatch）
- ・ スプラッシュスクリーンは嫌われる～米 Nielsen Norman Group が iPad 電子雑誌アプリ等の UI デザインについて調査レポート公開（hon.jp DayWatch）
- ・ ヘビーユーザーたちによる紙書籍から電子書籍への移行が加速中～米 BISG が市場調査レポートを発売（hon.jp DayWatch）
- ・ アマゾンのアンドロイドタブレットは 2012 年に 2.4 ミリオン台売れるだろう（The Next Web）
- ・ タブレット版新聞の読まれる時間は長い（DON）
- ・ 女性雑誌は iPad より NOOK Color（eBook2.0Forum）
- ・ 新 Nook は一分一頁めぐりで 150 時間動作、Kindle は 56 時間（Engadget）
- ・ 書籍業界、戦国時代に突入（電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋）
- ・ 米国の 3 月度：印刷本回復、E-Book は DL 疲れ？（eBook2.0Forum）
- ・ 英出版団体 が 2010 年度市場統計を発表、

商用電子書籍の売上が 4 倍ペースで急成長（hon.jp DayWatch）

- ・ 雑誌記事が「ベストセラー」になる（eBook2.0Forum）
- ・ 電子書籍を読めるのは誰か？女性が小説を読んでいる（BISG）

コラム・インタビュー

▼国内

- ・ [寄稿] EPUB の制作現場のいま/佐々木康彦（eBook2.0Forum）
- ・ 読む環境としての iPad と印刷紙を比較する（eBook2.0Forum）
- ・ 新潮社の「電子書籍基本宣言」に思うこと（マガジン航）
- ・ デジタルコンテンツ活用は誰にでも開かれているが…（Digital Media Literacy）

▼国際

- ・ Amazon は出版社に見られたがっている（FutureBook）
- ・ Amazon さん、お願いだから Kindle をタッチスクリーンにしないで（TechCrunch）
- ・ Amazon タブレットいよいよ登場か～部品業者が明かす（eBookUSER）
- ・ Amazon 社 CEO の Jeff Bezos 氏が株主向けに研究開発投資の重要性を説明、Kindle の「Whispersync」技術にも言及（hon.jp DayWatch）
- ・ Ebooks とセルフパブリッシング（BookBee）
- ・ Epub in InDesign CS5.5：WebKit のバグに気をつける！（TeleRead）

- ・アップル、アプリ内課金の特許侵害めぐり開発者らを擁護 (CNET Japan)
- ・Lodsys、アプリ内課金の特許侵害を改めて主張—アップルに反論 (CNET Japan)
- ・WSJだけが健在で、他の米新聞は総崩れか (メディア・パブ)
- ・e-inkでスクロール (電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋)
- ・iPad出版アプリFlipBoardのCEO曰く、「収入の大半は広告」 (TechCrunch)
- ・これもマーケティング戦略？ (電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋)
- ・イギリスの著作権改正 (電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋)
- ・エージェントが出版社に (電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋)
- ・デジタル革命第2幕：印刷と流通の統合 (eBook2.0Forum)
- ・ベゾス会長、Amazonタブレットについて：「お楽しみに」 (TechCrunch)
- ・中国でまさかのマイナス成長！電子ブックリーダーに未来はあるか！？：山谷剛史のニーハオ！中国デジモノ (日経トレンディネット)
- ・価格実験 (電子書籍、ヴォーカロイド、そしてコンピュータ将棋)
- ・書店も出版社になるべきか？ (eReaders)

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

連載 電子出版ビジネス批評【第6回】

米国のインターネット広告売上、再び上昇気流に乗る

text : 田中善一郎
2011年5月28日

メディア社勤務時代から、国内外の動向を広くウォッチする一方で、独自の視点でネットメディアを読み解き、情報発信を続けられている田中氏。第一線で活躍され、豊富な経験をお持ちの田中氏に、日本の電子出版ビジネスの課題を明らかにしてもらおう。(編集部)

米国のインターネット広告が完全に調子を戻してきた。the Interactive Advertising Bureau (IAB) と PricewaterhouseCoopers (PwC) の調査によると、2011年第1四半期(1月-3月)のネット広告売上高が73億ドルに達し、前年同時期に比べ23%もアップした。

リーマン・ショック以降の広告大不況により、さすがのインターネット広告も2009年にマイナス成長に落っこちた。だが2009年第4四半期に早々とプラスに転じ、2010年以降は以下のグラフのように一気に上昇気流に乗り、広告メディアの牽引役を演じている。

2008	Q1	\$5,765	18%
	Q2	\$5,745	13%
	Q3	\$5,838	11%
	Q4	\$6,100	2%
2009	Q1	\$5,468	-5%
	Q2	\$5,432	-5%
	Q3	\$5,500	-6%
	Q4	\$6,261	3%
2010	Q1	\$5,942	9%
	Q2	\$6,185	14%
	Q3	\$6,465	18%
	Q4	\$7,449	19%
2011	Q1	\$7,300	23%

the Interactive Advertising Bureau(IAB)とPricewaterhouseCoopers(PwC)調べ

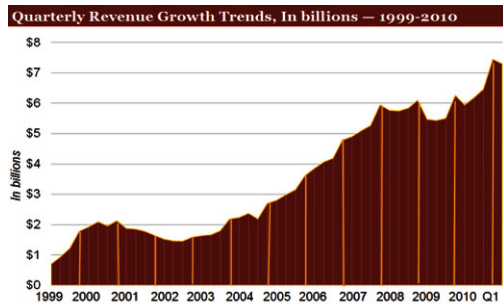
米インターネット広告の四半期売上高と前年同期比(売上高の単位: 100万ドル)



米インターネット広告売上高の前年同期比の推移 (2008年Q1～2011年Q1)

インターネット広告売上高の推移を1999年

から振り返ってみる。これまでインターネット広告は大きな危機に2回ほど見舞われた。2001年のネットバブル崩壊と2008年後半からの金融危機に発する不況である。高度成長が当たり前のインターネット広告もマイナス成長に陥ったが、いずれも比較的早くたくましい復活ぶりを示している。



米インターネット広告売上高（四半期単位）の推移（1999年Q1～2011年Q1）

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

参考

● Internet Advertising Revenues Hit \$ 7.3 Billion in Q1 '11

http://www.iab.net/about_the_iab/recent_press_releases/press_release_archive/press_release/pr-052611

● Highest First-Quarter Revenue Level on Record According to IAB and PwC (IAB)

http://www.iab.net/about_the_iab/recent_press_releases/press_release_archive/press_release/pr-052611

今週の用語

text : hon.jp
2011年6月1日

【ロイヤルティ】

著作権などの権利の使用料のこと。印税もロイヤルティの一種であるが、出版事業者とコンテンツ配信事業者や取次時業者などとのBtoB取引においては、料率や正味も出版社にとってロイヤルティとなる。

2010年1月、アマゾンが一定条件のもと、個人作家を含めたロイヤルティ（印税もしくは料率）を70%とする旨のリリースを発信、その後iPadにおける電子書籍販売をリリースしたアップルや電子書籍販売の開始を表明したグーグルまでもがこれに追随した。

BtoB取引におけるロイヤルティ条件競争はその後沈静化したものの、米国ではAuthors Guildが電子書籍における著者のロイヤルティが紙の書籍のそれと比べて低いことを指摘したり、またアマゾンのキンドルにおける音声読み上げ機能のロイヤルティを主張するなど、話題に事欠かない。

日本国内のBtoB取引の場合、出版者に対するロイヤルティは一律ではなく、また作品ごとに設定されることもある。

【リジェクト】

作品の配信が許可されないこと。プラットフォーム

オーナー側から、ストアの基準に照らし合わせ、配信するのに相応しくないと判断され、配信が停止されること。

アップルの審査基準が厳格でリジェクトされる作品が相次ぎ、表現の自由の観点から問題視されることもあるが、これと似た問題はすでに携帯電話向けに配信される作品においても、キャリアによる削除要請が問題になったことがある。

アップルのアップストアやアマゾンのキンドルストアなど、外資系企業の場合は文化的な背景（特に性や暴力に関する思想）が日本とは異なるため、配慮が必要になる。

【フェアユース】

著作権法上、著作権者の許諾がなく著作物を利用しても、それが一定の指針を満たす公平な利用であれば、著作権侵害に該当しない、とする法理のこと。

1841年米国 Folsom v. Marsh 判決で最初に確立されたものと思われる。

判例で積み重ねられたフェアユースの法理は、1976年米国の著作権法改正時に条文として盛り込まれているが、あくまでもあいまいな指標にすぎず、フェアユースか否かについては、裁判所判断となる。そのため、米国では各種団体

がガイドラインを規定している。

Google Book Search 問題で、グーグルはスキャンしたデジタルデータを公開することを「フェアユース」と主張しているが、和解案に対する判決はまだ出ていない。

米国での法理であったが、2007年にイスラエルが著作権法改正時に法制化、日本でもフェアユース規定と同様の著作権制限の一般規定の導入が検討され、2010年には文化審議会著作権分科会法制問題小委員会に報告書が提出されている。

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

特 集

E P U B 3

E P U B 3 の 実 力

いーぱぶすりー

じつりよく



特集 EPUB3 の実力

EPUB が注目される理由

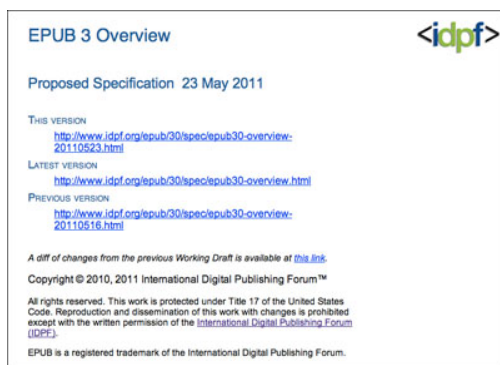
text : イースト
EPUB エバンジェリスト 高瀬拓史
2011 年 6 月 7 日

2011 年 5 月 23 日、IDPF はニューヨークで開催した「IDPF Digital Book 2011」において、EPUB3 の Proposed Specification (提案仕様) を発表した。そこで、ほぼ最終仕様が確定したこの EPUB3 とはどのようなものなのか、そのポイントを解説する。

EPUB3 の策定は 2011 年夏の終わり頃

EPUB3 の策定作業は 2010 年 6 月から始まったが、この Proposed Specification (提案仕様) が出たことで、最終段階を迎えたことになる。

この仕様が Recommended Specification (勧告仕様) に昇格すれば EPUB3 が確定したことになる。現在は、そのために仕様を一般に通知して、知的財産権に問題ないことを確認するプロセスに入っている。したがって、内容面に関してはほぼ確定したといっている。Recommended Specification (推奨仕様) に昇格する時期について、IDPF は今年 (2011 年) の夏の終わり頃という見通しを出している。



発表された EPUB3 の Proposed Specification (提案仕様) (<http://idpf.org/epub/30/>)

EPUB は事実上の世界標準フォーマット

EPUB は米国にある電子出版に関する国際的組織 International Digital Publishing Forum (IDPF) が策定し、普及を推進している電子

書籍フォーマットである。

欧米の電子出版物で広く採用されているほか、韓国や台湾などアジア圏でも国家レベルで普及が推進されており、事実上の世界標準のフォーマットとなっている。

とりわけ米国では、アップルの iBookstore、グーグルの Google eBookstore をはじめ、主要な電子出版プラットフォームが EPUB を採用しており、唯一独自のフォーマットを採用しているアマゾンの Kindle Store も、将来的には EPUB を採用するといわれている。

環境によって形を変える本

EPUB の最大の特徴は、「リフロー（再流し込み）」という言葉で表現される。これは、ディスプレイの大きさや文字の大きさによって、文章の構成要素がリフロー（再流し込み）され、レイアウトが変化することを意味している。

PDF が、どのような環境であれレイアウトが変化しないことを重視したフォーマットであるのに対して、EPUB は、どのような環境であれ「読みやすさ」を重視したフォーマットであるといえることができる。

EPUB は、対応するビューワさえあれば、PC、Mac、スマートフォン、タブレット端末、読書専用端末などマルチプラットフォームで読むことができる。とりわけスマートフォンのような小さなディスプレイの端末で EPUB と PDF を比べてみれば、EPUB の「読みやすさ」は一目瞭然である。

オープン＆フリー

EPUB は、オープン＆フリーである。EPUB の仕様は IDPF のサイトで公開されており、誰でも閲覧することができる。そして、利用する際にライセンス料を支払う必要は全くない。

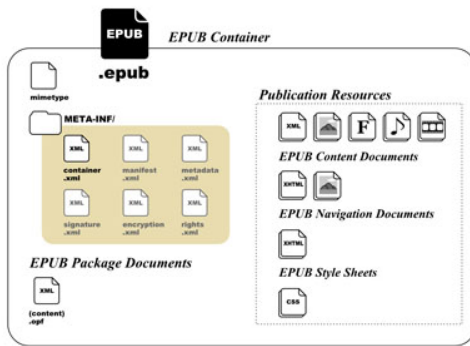
オープン＆フリーであるがゆえに信頼性が高いというのも重要な点である。特定企業が開発した独自フォーマットと異なり、EPUB は仕様が全て公開されているため、将来的に購入したコンテンツが読めなくなるというリスクがきわめて低いのである。

Web 標準技術との高い親和性

EPUB は、World Wide Web Consortium (W3C) が策定している Web の標準技術 XHTML をベースに開発されている。そして、インターネットに接続していない環境でも閲覧できるように、ZIP 形式で圧縮し、端末にダウンロードして閲覧するようになっているのが特徴である。

EPUB のファイル構成

次の図は、EPUB のファイル構成図である。



EPUB は ZIP 形式で圧縮し、拡張子の「.zip」を「.epub」に変更してある。したがって、「.epub」を「.zip」に変更し、ZIP ファイルと同様に解凍すれば、中のファイルを取り出すことができる。

中にはいくつかの XML ファイルとコンテンツを記述した XHTML ファイル、レイアウト情報を記述した CSS ファイルなどが格納されている。XHTML ファイルや CSS ファイルは、現在の Web サイトで用いられているものと同様のものである。

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

特集 EPUB3 の実力

EPUB3 で進化した仕様をみる

text : イースト
EPUB エバンジェリスト 高瀬拓史
2011 年 6 月 7 日

EPUB2.0.1 から EPUB3 への仕様変更で最も根本的なものは、今後 Web の標準規格となる HTML5 や CSS3 を取り入れたことである。そして、日本や台湾で用いられる縦書きや右から左へ横書きするアラビア語などへの「マルチリンガル対応」、音声、動画といった「リッチメディア対応」が挙げられるが、それらの仕様の多くはまだ確定したものではない。とはいえ、こうした先進的な仕様を積極的に取り入れることで、EPUB3 はより一段と「電子出版物の世界標準フォーマット」と呼ばれるにふさわしいものとなった。

仕様の構成

次の表は、EPUB3 と EPUB2.0.1 の仕様を比較したものである。

どちらの仕様も複数のドキュメントで構成されているが、新規に追加された EPUB Media Overlays 3.0 と、概要説明のドキュメントである EPUB3 Overview、EPUB3 Changes from EPUB2.0.1 を除けば、既存の仕様を継承・拡張したものになっている。

EPUB3 と EPUB2.0.1 の仕様比較

項目	EPUB3	EPUB 2.0.1
フォーマットの概要説明	EPUB3 Overview	—
メタデータ、読み順の記述方法	EPUB Publications 3.0	Open Packaging Format 2.0.1
コンテンツの記述方法	EPUB Content Documents 3.0	Open Publication Structure 2.0.1
目次の記述方法	EPUB Content Documents 3.0	NCX (DAISY)
テキストとマルチメディアの同期方法	EPUB Media Overlays 3.0	—
ZIP コンテナの構成	EPUB Open Container Format 3.0	Open Container Format 2.0.1
以前のバージョンとの変更点	EPUB3 Changes from EPUB 2.0.1	—

EPUB3 で利用できるファイル

EPUB では標準的に利用できるファイルをコアメディアタイプとして定義しているが、EPUB3 ではいくつかのメディアタイプが追加されており、EPUB3 のビューワには、これらのメディアタイプをサポートすることが求められている。

アクセシビリティに関しては、音声をコンテンツに同期させる EPUB Media Overlay や音声

読み上げシステムに発音情報を伝える発音辞書が加えられている。

また、標準的にフォントファイルを埋め込むことができるようになり、OpenType と WOFF という 2 種類のフォーマットが加わっている。

その他にもオーディオファイルや JavaScript が追加され、リッチなコンテンツを実現できるようになった。

動画は、コアメディアタイプに含まれていないが、ビューワは H.264 と VP8 をサポートすることを推奨している。

サポートする画像のメディアタイプ比較

名称	メディアタイプ	EPUB3	EPUB 2.0.1
GIF	image/gif	○	○
JPEG	image/jpeg	○	○
PNG	image/png	○	○
SVG	image/svg	○	○

サポートする XML 文書のメディアタイプ比較

名称	メディアタイプ	EPUB3	EPUB 2.0.1
XHTML	application/xhtml+xml	○	○
NCX	application/x-dtbncx+xml	○	○
EPUB Media Overlay	application/smil+xml	○	—
TTS 発音辞書	application/pls+xml	○	—

サポートするフォントのメディアタイプ比較

名称	メディアタイプ	EPUB3	EPUB 2.0.1
OpenType フォント	application/vnd.ms-opentype	○	—
WOFF フォント	application/font-woff	○	—

サポートする音声のメディアタイプ比較

名称	メディアタイプ	EPUB3	EPUB 2.0.1
MP3	audio/mpeg	○	—
MP4 AAC LC	audio/aac	○	—

サポートするテキストのメディアタイプ比較

名称	メディアタイプ	EPUB3	EPUB 2.0.1
スタイルシート	text/css	○	○
JavaScript	text/javascript	○	—

コンテンツの記述

EPUB2.0.1ではXHTML1.1のサブセットを利用していましたが、EPUB3からはHTML5のXMLシリアライゼーション（XHTML5）で記

コンテンツの記述の比較

EPUB3	EPUB 2.0.1
(X) HTML5	XHTML 1.1
SVG 1.1 Second Edition	DTBook

目次の記述

目次は、EPUB2.0.1ではNCXというDAISY由来のXMLを利用していましたが、EPUB3ではコンテンツと同様にXHTML5で記述する。ナビゲーションのタグであるnav要素とol要素とli要素からなるリストとして表現する。

```
<nav epub:type="toc" id="toc">
  <h1>目次</h1>
  <ol>
    <li>
      <a href="chap1.xhtml">第一章</a>
    </li>
    <li>
      <a href="chap2.xhtml">第二章</a>
    </li>
    <li>
      <a href="chap3.xhtml">第三章</a>
    </li>
  </ol>
</nav>
```

述する。

また、ベクターグラフィック言語SVGで記述したファイルも独立した文書として扱うことができるようになった。

EPUB2.0.1では、DAISYのコンテンツ記述にDTBookを使用していたが、EPUB3ではSVG 1.1 Second Editionを使用するようになった。

EPUB3で利用するCSSのプロパティ

EPUB3で利用できるCSSプロパティは、EPUB3 CSS Profileとして定義されている。ここではCSS2.1がベースラインとされており、CSS3の一部のモジュールも利用してよいとされている。

日本語のレイアウトに関する重要なプロパティは、その多くがCSS3のモジュールとして含まれているが、W3CではWorking Draftの状態にあり、将来変更が生じる可能性がある。

このような安定していないプロパティをEPUBで利用する際には、プロパティ名に“-epub-”という独自の接頭辞を付けるようになっている。

例：
縦書き -epub-writing-mode: vertical-rl;
縦中横 -epub-text-combine: horizontal;

黒点 `-epub-text-emphasis-style: filled sesame;`
 禁則ルールの指定 `-epub-line-break: strict;`

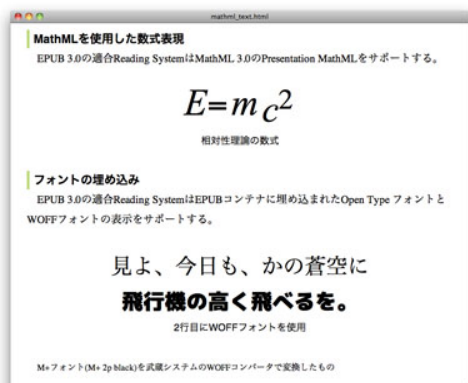
■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

EPUB3 CSS Profile にはこの他に次のような CSS3 のモジュールが含まれている。

CSS3 Speech Module - 音声読み上げの制御
 CSS Fonts Level 3 - フォントの指定
 Media Queries - 表示メディアの種類や特性に応じたスタイルシートの制御
 CSS Multi-column Layout Module - 段組の指定

その他、EPUB3 では次のような拡張が行われている。

- ・数式を表現する MathML のサポートが必須となった。
- ・多様で複雑なメタデータを記述するメカニズムが導入された。
- ・JavaScript が Reading System の情報を得るためのオブジェクト `epubReadingSystem` が導入された。
- ・フォントの難読化メカニズム (Font Obfuscation) が仕様化された。
- ・コンテンツ内の位置情報を表現するメカニズム (EPUB CFI) が仕様化された。



WebKit における MathML と WOFF フォントの表示

特集 EPUB3 の実力

OnDeck 誌面でみる EPUB3 の効果

text: 編集部

2011年6月6日

EPUB2 ベースで発行している OnDeck が EPUB3 に対応したらどうなるのか？ ここでは近い将来、見られるかもしれない OnDeck の姿を紹介する。

キーインタビュー
連想検索エンジンの開発者が提案する電子出版の新たな地平
国立情報学研究所 連想情報学研究所 高野明彦教授



「電子出版が立ち上がり途上の今、おきておくべき歴史的な経緯などを紹介しておこうと思っているのですが、高野さんのこれまでの研究についてご紹介いただけますか。」

連想情報学は人の脳と情報空間の創造的相互作用などを研究対象としています。研究成果として2002年にGETA(《連想情報学エンジン》)を発表しました。

いま、ウェブのサービスではキーワード検索という切り口だけがのびて進化しています。初期のヤフーにはディレクトリサービスがありましたが、それも含めて忘れ去られてしまいました。確かにキーワード検索は、かなり使い物になっています。しかし本来、人間は自分の頭の中をキーワード検索しているわけではありませぬ。

GETAは、人間が何かを思い出す時に使われる「連想」に似た情報処理のエンジンです。グループのようなリンク解読アルゴリズムでは、どうしても皆が

「人気ランキング以外で探す連想検索「GETA」」

て、テーマごとの連想検索の正解例のようなものを作っていました。

次に取り組んだのが「文化遺産オンライン」です。全国の美術館・博物館に所蔵されている文化財を写真付きで紹介するポータルサイトで、気になった文化財から連想検索で関連作品を一覧できます。何か文化財に興味を持った人が、取説品の写真や情報を見て、さらにどの美術館・博物館に行けばその興味を深めることができるかまでガイドしています。

高野明彦教授は、2002年に新しい検索手法を考案したサテライトエンジンGETAを発表し、その後も意欲的なサービスを作り続けています。脳と電子情報について取り組み続ける高野氏に、書籍の電子化についてのお考えやアドバイスを伺った。

高野明彦教授
2011年4月13日
インタビュー
高野明彦教授
2011年4月13日

OnDeck が縦組みになったら？

中横など、縦組み表現で最低限求められる機能をサポートしているのが特長だ。ということで、縦組み版の OnDeck を作ってみた。ただし、EPUB3 をサポートするビューワは現時

EPUB3 といえば、縦書き、ルビ、圏点、縦

点で存在していないため、Mac 上で「WebKit」が組み込まれている Web ブラウザを利用して XHTML ファイルを表示した。

インタビューページをサンプルとしてみたが、結構いい感じに仕上がっている。特にフォント指定をしていることから、誌面にメリハリが出ているのがわかる。また段組機能を使うことで、1 行あたりの文字数が少なくなり、読みやすくなっている。

申し訳程度に圏点やルビを使ってみたが、元々本誌ではあまり使っていないこともあり、EPUB3 になってもほとんど使わないのではないかと作ってみておもしろかった。これに対し、縦中横は縦組みでは必須になることから、いかに簡単に記述できるかを検討しなければならないという印象を受けた。



縦中横もこのとおり表示されている

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■



ルビも圏点も正しく表示



特集 EPUB3 の実力

EPUB3 が抱える課題

text : イースト
EPUB エバンジェリスト 高瀬拓史
2011 年 6 月 7 日

EPUB3 の仕様は先進的なものとなったが、裏を返せば、それだけ EPUB3 は未解決の課題を数多く抱えているということでもある。ここでは、仕様が大幅に変更されるリスク、ビューワ開発者やコンテンツ制作者にとっての対応の大変さなど、EPUB3 がかかえる代表的な課題を列挙する。

不安定な技術を参照するリスクへの対応

EPUB3 では HTML5 や CSS3 など、W3C でいまだに勧告に至っていない標準を参照している。従って、これらの標準が変更されてしまう可能性が、EPUB の抱える潜在的なリスクとなっている。

そのため IDPF では、タグの意味や CSS プロパティの記法に変更が生じた場合、直ちに EPUB のバージョンを上げて、仕様をアップデートする方針をとっている。

大幅に拡張された仕様に実装は追いつけるのか

EPUB3 が普及するためには、この仕様に適合

したビューワの登場が不可欠である。しかし、仕様の規模が大きく、全てを実装したビューワを開発するのは大変であり、EPUB3 の仕様を部分的に実装したビューワが登場する形になると予測される。

たとえば、SVG、MathML、WOFF といった Web ブラウザでもごく最近サポートされたばかりの技術が必須とされている。これは、シンプルなビューワを開発する際には、要求水準が高すぎるともいえる。

日本語レイアウトに関しては、Web の世界でも CSS の縦書きモジュールを実装しているのは WebKit 系のブラウザに限られているのが現状である。



縦書きを実装したビューワがいつ登場するかも課題

コンテンツ制作側の課題

では、コンテンツ制作側にとってはどうであろうか。今回仕様に取入れられた技術の中には、Web の最新技術や、EPUB が新たに追加した技術もある。

そのような技術は、実装が少なかったり、まだ実装されていなかったりするため、コンテンツ制作のノウハウがまだ蓄積されていないというのが、現時点での課題ということができる。

とはいえ、新しい表現を求めないのであれば、既存の EPUB2 のコンテンツにわずかに手を加えるだけで EPUB3 コンテンツを作成することができる。

まずは、EPUB2 の制作フローを活用しつつ、ビューワの開発状況を見ながら、少しずつ新しい要素を取り入れてゆくことになるであろう。

EPUB3 の豊かな表現力を生かしたコンテンツを制作するためには、オーサリングツールの登場も望まれる。

「注記」は別仕様として策定の予定

今回発表された仕様に含まれなかったものと

して、「注記」がある。

著者自身による注釈や、読者によるメモ書きやアンダーラインなどの情報を標準化しようという目的があったが、期間内にまとまる見通しがなかったため、EPUB3 には含まないことが早い時期に決まっていた。

注記については別の独立した仕様として策定される予定である。

フィードバックのサイクルが仕様を成熟させる

今回発表された EPUB3 の仕様は、いわば策定者がビューワ開発者やコンテンツ制作者にボールを投げた状態であるといえる。

ビューワ開発者やコンテンツ制作者、さらにはユーザーからの返球を得て、仕様はよりよいものになってゆくであろう。

EPUB3 の新機能の中には、未知数のものもあるが、とにかく仕様の策定と実用のサイクルを繰り返し替えないことには始まらない。

日本からも実用を経た提案や要望を上げてゆくことが重要である。EPUB3 の策定には日本人の関係者も大きな存在感を発揮した。日本からの声が生かされることは、EPUB3 に縦書きが採用された事実が証明している。

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

編集部からのお知らせ

前号で、「リニューアルする予定」と報告しましたが、EPUB3の速報をお届けしなかったのが、今号は従来どおりの構成で発行させて頂きました。

[次号予告] 特集 プリント・オンデマンド

「世界の“絆” グラフ」について

東日本大震災の被災者応援企画である「世界の“絆” グラフ」は、4月27日に、EPUB/PDF版を発行したのを皮切りに、6月1日に YouTube 版を公開しました。

<http://www.youtube.com/user/311kizunagraph>

近く、被災地向けの紙のポスター版の発行も予定しています。



読者登録して頂いた方には、次号の発行日にメールでお知らせします。
下記の Web サイトで、ぜひ登録をお願いします。

登録 サイト

<https://on-deck.jp/mail/>

バックナンバーも無料でダウンロードできます。テスト期間のうちにぜひどうぞ。

ダウンロード サイト

<http://on-deck.jp/>

出版社インタビュー【第6回】

新潮社
「Shincho Live」をオープン

開発部電子メディア事業室 上田恭弘氏

聞き手：編集部
インタビュー：2011年6月1日

新潮社は2011年4月28日に自社電子書籍をライブラリ化したポータルサイト「Shincho Live!」をオープン。同サイトを核に、原則、紙の新刊書籍の全点を刊行から半年後をめどに電子書籍として刊行していくとともに、マルチプラットフォーム展開を積極的に押し進めてゆく方針を打ち出した。



新潮社の電子書籍ライブラリ「Shincho Live!」

——他の出版社に先駆けて電子書籍ポータルサイト「Shincho Live!」をオープンされましたが、その概要と目的についてお聞かせください。



上田恭弘氏

上田：新潮社では、2002年2月に日本の出版社で初となるケータイサイト「新潮ケータイ文庫」をオープンするなど、先駆的に電子書籍に取り組んできました。こうした活動を基盤にして、2010年後半から新しいスキームでの配信の準備を進めてきたのです。

その第一の目的は、「全点配信」。著者の許諾が取れた新刊、技術的に可能な新刊は、原則全点を電子書籍化し、配信していくということです。そのためには、従来のように我々の部署だけが電子化を担当するというのではなく、全社的な体制を作らなければなりません。そこで、数カ月をかけて編集部員全員に電子書籍化に当たって必要なノウハウをトレーニングしてきました。

これからは、編集者ひとりひとりが書籍と電子書籍の制作に責任を持って取り組んでいく。著者など権利者との間で、書籍と電子書籍の契約を同時に交わしてゆく。今のところ同時刊行は考えていませんが、書籍の刊行から半年をめどに電子書籍の刊行をしていく。

こうした全社的な体制を整えた上でオープンしたのが「Shincho Live!」なのです。

「全点配信」とともに、もうひとつ重要なのが「全プラットフォーム対応」です。契約条件さえ合えば、国内で発売されている端末には原則、全て対応していくということです。

「Shincho Live!」では、端末別対応作品数を公開しています。2011年5月27日現在、ケータイが588点、iPhoneが449点、iPadが61点、Androidが60点、GALAPAGOSが60点、Sony Readerが60点、biblio Leafが60点、PCが60点となっています。今はまだケータイやiPhoneが多くなっていますが、全端末対応を積

極的に進めています。

——「全点配信」「全プラットフォーム対応」というのは素晴らしいですね。今後、どれくらいのペースで電子書籍化を進められるのでしょうか？

上田：新刊書籍の点数は月平均30点くらい。そのうち許諾がいただけるのは20点程度と見えています。既刊の書籍からの電子化も加えて、月に30点程度を電子書籍化していきたいと考えています。

——「Shincho Live!」で実際に検索を試みましたが、作品の概要や購入方法がよく整理されていて、わかりやすくなっていると思いました。Twitterでつぶやけるなど、ソーシャルの機能も備えていて、出版社の電子書籍ライブラリとしてひとつのモデルケースになるのではないかと感じました。



「Shincho Live!」で「石田衣良」作品を検索したところ

上田：ありがとうございます。2011年5月11日には、新潮社のポータルサイトの作品検索機能を刷新しまして、紙書籍、電子書籍を同時に

検索できるようにしました。

——それはすごいですね。そこまでトータルに紙書籍と電子書籍を統合して検索できるようにしている出版社というのは、まだそうたくさんないと思います。ファイルフォーマットについてはどうなのでしょう？

上田：基本的に XPDF 形式で統一していこうと考えています。これは日本の電子書籍ストアのほとんどが XPDF 形式に対応しているからです。

——EPUB 形式はどうでしょうか？

上田：今のところ考えていません。EPUB3.0 で日本語仕様に対応したといっても、安定して使えるビューワが出てこなければ意味がありませんし、私の見た感じでは、まだまだ日本語表現でいったら XPDF 形式のほうが上です。いわゆる交換フォーマットの開発が進んでいますから、EPUB 対応は、そうした環境が整ってからでも遅くないと考えています。

——今後の AppStore での展開は？

上田：微妙ですね。『1Q84』（村上春樹）の海賊版の問題をアップルが放置したままですから。リジェクションの問題もありますし、ビジネスパートナーとして信頼に足る相手かどうか、慎重に見極めたいと思います。

——Android での展開は？

上田：Android は、AppStore よりももっと危険です。誰でも審査なしでアップできてしまうわ

けですから。私どもとしては、キャリア主導でやっているところ以外は、安心して作品を提供できないと考えています。

——電子雑誌についてはいかがでしょうか？

上田：電子雑誌は、電子書籍よりももっと大変です。ライターはもちろんのことカメラマンやイラストレータ、取材協力者など、たくさんの方々の許諾と支払いの問題をクリアしなければなりませんから。バックヤードの大変さは、紙の雑誌の比ではありません。

実は、2010 年 11 月から『週刊新潮』の電子版の海外配信は始めています。さまざまな権利者の問題をクリアしてようやく実現することができました。

——海外に限定されているのはなぜでしょうか？

上田：それは日本の書店への配慮です。課題はたくさんありますが、とにかく全社を挙げて電子書籍化に取り組む。その方針に変わりはありません。

——ありがとうございました。



■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

デバイスレビュー【第7回】

Optimus Pad L-06C (NTT ドコモ)

text : イースト
2011 年 5 月 17 日

NTT ドコモと KDDI からそれぞれ Android 3.0 を搭載したタブレットが発売され、震災後延期されていた iPad 2 もゴールデンウィーク直前に国内販売が開始された。スマートフォンに比べると、まだ大きな市場を形成するには至っていないタブレットだが、パソコンよりもポータビリティに優れ、大きなディスプレイによる表現力や一覧性の良さは、既に多くのユーザーが知るところだろう。とりわけ、本レビューのテーマである電子書籍の普及には、電子ペーパー端末とともにタブレットへの期待も大きい。今回は、NTT ドコモより発売された Optimus Pad (LG エレクトロニクス) を取り上げ、電子書籍端末としての可能性を考えてみたい。



Optimus Pad L-06C

	Optimus Pad L-06C	(参考) Galaxy Tab SC-01C
価格(税込)	本体価格：7万9800円(月々サポート適用で実質負担額は3万円台)	本体価格：6~7万円 Happy Tab キャンペーン割引額：新規3万7128円、機種変更3万2760円
サイズ	縦約150mm×横約243mm×厚さ約12.8mm(最厚部約14.1mm)	縦約190mm×横約120mm×厚さ約12.1mm(最厚部約12.2mm)
重量	約620g	約382g
ディスプレイ	約8.9インチ ワイド XGA TFT 1280×768、1677万7216色	約7.0インチ ワイド SVGA TFT 600×1024、1600万色
インターフェイス	正面(ソフトウェア・ボタン)：ホーム、バック、タスク一覧(最近使用したアプリの一覧)	正面：メニューボタン、ホームボタン、バックボタン、検索ボタン
入出力	側面：電源/画面ロックキー、音量キー イヤホンマイク端子、microUSB 接続端子、HDMI 端子、ドッキングステーション端子、充電端子	側面：電源/終了ボタン、ボリュームボタン microSD カード、ヘッドフォン端子、外部接続端子(USB 接続ケーブル等)
通信機能	3G、WiFi	3G、WiFi
フォント	(標準設定なし)	5種類から選択可能。 標準、Apple mint、チョコクッキー、Helv Neue S、ティンカーベル
書籍フォーマット	(標準アプリなし)	EPUB、PDF

<<< 本体外観

本体背面には二眼カメラを搭載し、ここが本体の最厚部となっている。スピーカーは、左側面に2個、右側面に1個内蔵。これにより、画

面の向きを変えても、左右のスピーカーでステレオ音声を流すことができる。スピーカーは、画面の向きを変えるだけでスムーズに切り替わり、音質も良好だった。



(左) 本体背面。二眼カメラが搭載されている。(右) 本体底面。左がmicroUSB 端子、左がHDMI 端子(右)。

<<< サイズ

Galaxy Tab の重さは、OnDeck 3月24日号で

述べた通り「見た目から感じるほど重くなく、片手持ちも苦痛に感じないほど」だった。実際に、電車で Galaxy Tab を片手持ちで使っている

ユーザーを見かけている。その Galaxy Tab と比べると、Optimus Pad のサイズは面積・重量ともに 1.6 倍。実際に手にした感触もずっしりと重く、片手持ちでの利用は難しいと感じた。

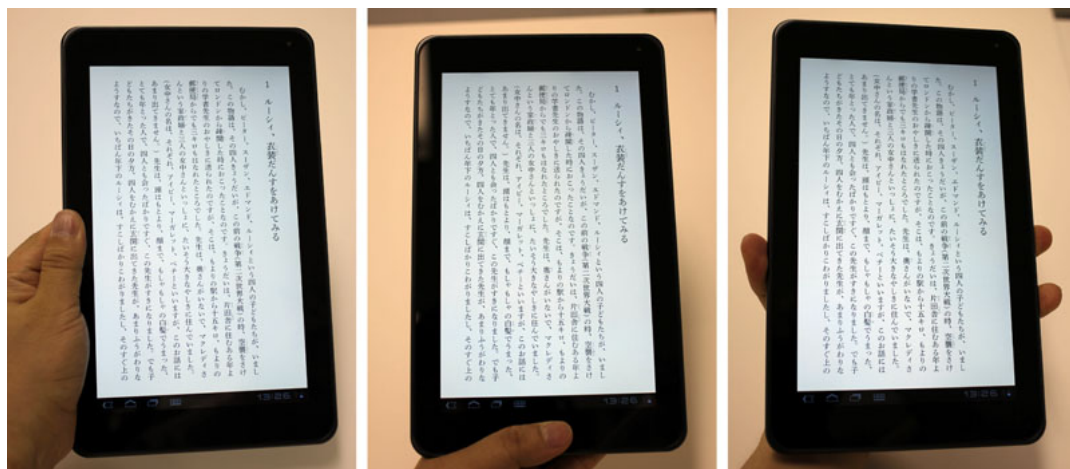
また、初代 iPad に比べると、面積は約 20 % 小さく重量も 15 % 軽いが、軽量化を実現した iPad 2 (613g) に比べるとわずかに Optimus Pad (約 620g) の方が重い。また、Optimus Pad と iPad 2 を実際に持ち比べてみると、体感的な重さは同じくらいでも、厚みの差 (iPad 2 が 4mm 薄い) が持ちやすさを左右していると感じた。

Optimus Pad の重量は、この製品の特長でもある大容量バッテリーのウエートが大きいと思われるが、iPad 2 の登場により、バッテリー

寿命を維持しながら本体を軽量化することが、Android タブレットにとって喫緊の課題になってしまったように思う。

<<< 操作感

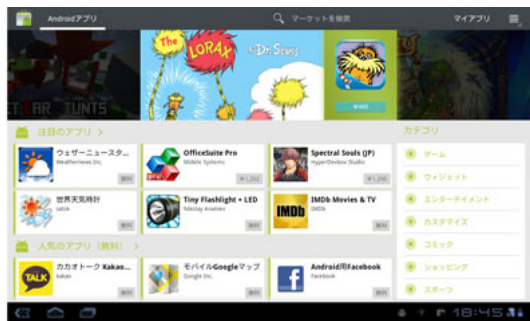
Optimus Pad はその重量のため、片持ちよりも、机の上・膝の上に置いて両手持ちが使いやすい。その点では、7 インチの Galaxy Tab よりも 9.7 インチの iPad に近い端末といえる。なお、両手持ちをお勧めすることには変わりないが、Optimus Pad の背面には滑りにくい塗装が加えられており、握った感触には安心感がある。



本体の左端 (左) や下端 (中央) を握れば重さで長続きせず、背面からわし掴みする (右) のは手の大きな人でも難しいだろう。大画面により書籍が読みやすいのはうれしいが、混雑した電車で手軽に利用できる大きさではない。

Optimus Pad はタブレット専用と位置付けられた Android 3.0 を搭載しており、標準搭載されたアプリケーションの新しい UI も目を引き

た。YouTube のホーム画面は一新され、Gmail や Android Market の UI にも、大画面を活かして使いやすくする工夫が見られた。



YouTube のホーム画面（左）と Android Market のトップページ（右）。

Gmail は横画面の 2 ペイン表示（左側に一覧、右側に詳細）により、一覧性と操作性が向上している。また、Gmail の他には、Optimus Pad の取扱説明書（e トリセツ）がとても使いやすかった。画面の左半分は二階層の目次を表示し、選んだ目次に合わせて右半分に本文を表示する。たどってきた目次を表示したまま各ページの内容を確認できるため、効率良く必要な情報を探すことができる。こうした UI は、マニュアルだけではなく、参考書や辞書のようなコンテンツにも有効だろう。



Optimus Pad の取扱説明書（e トリセツ）。

Pad には、PDF や EPUB 用のリーダーが標準搭載されていない。また、Sony Reader や biblio Leaf のような専用端末や iPad のように、独自の電子書籍サービスを持っているわけでもない。従って、Optimus Pad の電子書籍端末としての評価は、honto とマガストアを利用して行った。

Optimus Pad で honto を使ってみたが、横画面のサポートはされていなかった。Galaxy Tab より大きいディスプレイなので、見開きで使ってみたかったので残念だ。縦画面では、書籍の 1 ページを表示するには十分すぎるほどの大きさだった。また、アプリ側で用意している日本語フォント（秀英体横太明朝 M）は美しく、文字のサイズや照明（明るさ）等の設定はとても簡単だ。

残念だったのは、ページ送りのスピードがとても遅かった点。Optimus Pad は honto でサポートされている機種だが、画面の端をタップしてからゆっくりページが移動する様子は、画面が切り替わるまで一呼吸おく電子ペーパー端末のようだった。今後の改善に期待したい。

<<< 電子書籍端末としての評価

Galaxy Tab には iBooks と良く似た EPUB リーダーが標準搭載されていたが、Optimus

一方、マガストアの場合、Optimus Padでは小さい印象を受けた。Galaxy Tabでも雑誌を読むにはディスプレイが小さ過ぎると感じたが、8.9インチのOptimus Padでも依然小さいと感じた。誌面全体を表示すれば文字が判読できず、ダブルタップで拡大した状態でも人によっては小さく感じるだろう。約1インチの違いだが、9.8インチのiPadでは雑誌が読みやすく感じる。雑誌を読むのに適しているかどうかの境目は、ちょうどこの辺り（10インチ前後）にあるように思う。

1 ルーシィ、衣装だんすをあげてみる

むかし、ピーター、スーザン、エドマンド、ルーシィという四人の子どもたちが、いましめた。この物語は、その四人きょうだいだが、この前の戦争（第二次世界大戦）の時、空襲をさけてロンドンから疎開した時におこったことなのです。きょうだいは、片田舎に住むある年よりの学者先生のおやしきに送られたのですが、そこは、もよりの駅から十五キロ、もよりの郵便局からでも三キロもはなれたところでした。先生は、奥さんがいないで、マクレディさんという家政婦と三人の女中さんといっしょに、たいそう大きなやしきに住んでいました。（女中さんの名は、それぞれ、アイビー、マーガレット、ベチーといいますが、このお話にはあまり出てきません。）先生は、頭はもとより、顔まで、もしやもしやの白髪でうまつた、とても年とった人で、四人とも会ったばかりですが、この先生がすきになりました。でも子どもたちがきたその日の夕方、四人をむかえに玄関に出てきた先生が、あまりふうがわりなようすなので、いちばん年下のルーシィは、すこしばかりこわがりましたし、そのすぐ上の



honto で「ナルニア国物語」を表示。



ビューワレビュー【第6回】

Kindle 3.1 (Amazon.com)

日本語表示に対応した電子書籍端末「Kindle 3」の搭載ビューワ

text : T & Co.
2011年6月6日

Kindle 3.1 は、Amazon の第三世代電子書籍端末「Kindle 3」に内蔵されている最新のビューワソフト。2010年8月の端末発売時点で日本語表示に対応、2011年2月から現在のバージョンとなっている。

Kindle 3.1

動作端末	Kindle 3
価格	無料（端末は\$ 114~189）
対応フォーマット	AZW、PRC、TPZ、TXT、JPG、GIF、PNG、Audible、MP3 （Amazonの変換サービスにより、DOC、HTML、RTF、BMP、ZIP も利用可能）
EPUB	×
PDF	○
.book	×
XPDF	×
mobi	○（DRMなし）
書店機能	○ Amazon.com のアカウントを取得すれば洋書のみ購入可能
無料サンプル	○ \$ 0.00 の本、1 章のサンプル、定期購読の試読あり
外部データ読み込み	○ USB ケーブルで PC と接続してボリュームをマウント、Documents にドロップ
端末間の同期	○ Amazon.com で複数端末（出版社によるが 6 台まで）の同期/非同期が可能 読書中のページ、アノテーションを同期 外部データは非同期
オフラインでの読書	○
読み上げ	○ 英語のみ 音声：2 種、速度：3 段階

見開き表示	× PDF の元ファイルが見開きの場合のみ
画面回転（縦/横）	○ デバイス側で設定
ページめくり	
1 ページ	○ ボタン方式（「前頁」「次頁」が左右に 2 セット）
複数ページ	×
特定ページ	○ Go to…>Location で数値を入力して移動 次章（左）、前章（右）、冒頭、表紙、末尾にも移動可能 Back ボタンあり
自動めくり	○ 音声読み上げ時のみ
エフェクト	×
縦書き	×
フォント	1 書体 和文：明朝 0 書体、ゴシック 1 書体 欧文：セリフ 2 書体、サンセリフ 1 書体
見た目の変更	
文字	○ サイズ：8 段階、色：1 色
背景	×
輝度	○ [PDF のみ] 5 段階
反転	×
余白・行間・開き等	○ 行間（3 段階）、行長（3 段階）
画像の拡大縮小	○ PDF は画面全体を拡大（全画面、150 %、200 %、300 %、実寸）
検索	
キーワード検索	○ 英語のみ
目次	○ リンク：あり
しおり	○ リンク：あり
辞書	○ 英語のみ The New Oxford American Dictionary、Oxford Dictionary of English
編集	
ハイライト	○
メモ	○ 英語のみ 名称：ノート
コピー	×
印刷	×
外部リンク	○ キーワード検索では、グーグル、ウィキペディアを利用可能（Web ブラウザが開く）

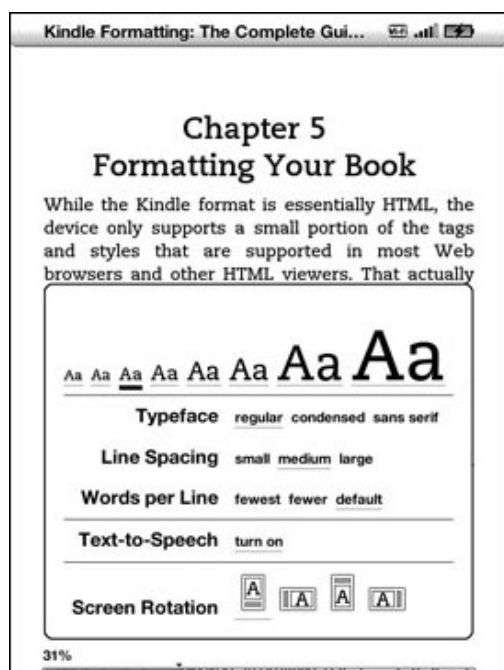
ソーシャルな連携	○ 書籍による Twitter や Facebook のアカウントを設定し、ノートとハイライトを共有可能 Kindle ユーザーによるハイライトや「Public Notes」を表示
操作のカスタマイズ	×
ツールバー	
配置	固定式 上部：タイトル、時刻、ネットワーク、バッテリー 右部：書店、移動、同期、概要、検索、しおり 下部：ページナビゲーション、再生コントローラー（オーディオブックのみ）
呼び出し	「Menu」ボタン押下
デザイン	コンテンツと重なるが独立したデザイン
本棚	
棚数	1 本 「Home」
表示形式	1 種 リスト
メタデータ表示	2 種 タイトル、著者
読みかけの表示	×
整理・分類	○ ユーザーが「コレクション」を作成して分類可能 タイトル、著者、最新、コレクションでソート

Kindle 3.1 は、「Kindle Store」で売られている書籍・雑誌・新聞（AZW、TPZ 形式）、オーディオブック（AA、AAX 形式）のほか、ユーザーが外部データとして取り込む PDF などの表示に対応している。外部データについては、PC に接続して適切なフォルダにファイルを入れることで、PDF 以外にもテキスト（TXT）や画像（GIF、JPG、PNG）、音声（MP3）の再生が可能だ。もちろん、AZW のベースとなった mobi 形式、PRC 形式も読み込める。



mobi 形式の本誌。「Documents」フォルダに格納すると読める。コンテンツの日本語表示には対応しているが、ユーザーインターフェイスは英語。

iPad用のビューワなどとは違い、電子ペーパーであるため画面はモノクロで光らない。色の変更や暗所での読書などの要望にはそぐわないが、紙の感覚の延長で本が読める。和文フォントは1書体で横書きのみだが、AZW系の本では文字サイズや字間・行間の調節が可能であり、電子書籍としての柔軟性がある。特に、音声読み上げや辞書参照といった機能が優れており、オーディオブックでなくても一冊まるまる好きな速度で聞いたり、カーソルを合わせるだけで英単語の意味を知ることができる（現状では日本語の読み上げと入力には未対応だが、洋書だけでも重宝する）。

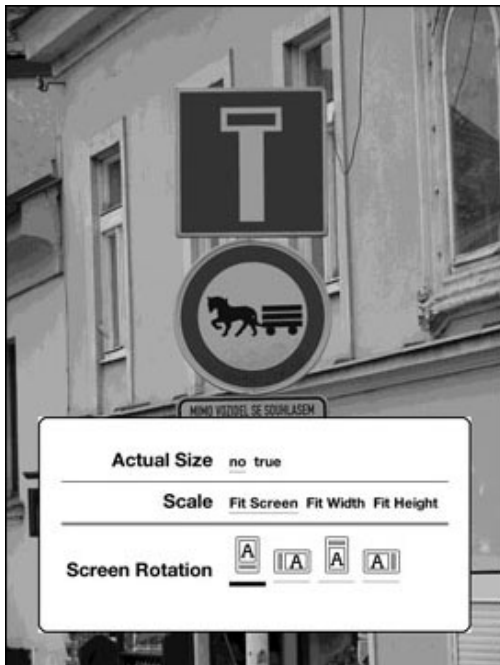


AZW。欧文は3書体から選べる。音声読み上げの最中はページが自動的にめくられるほか、声質や速度を変更できる。辞書は別途、英和辞典を購入して設定可能。(Joshua Tallent "Kindle Formatting" eBook Architects)

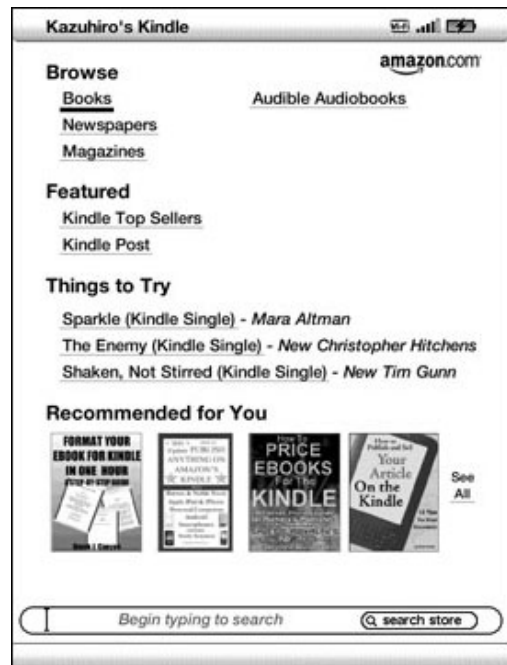


PDF。PDFであれば、埋め込みフォントなどが元ファイルの通りに表示されるため、縦書き・明朝・ルビありの本も読める（※青空文庫のTXTをPDFに変換するサービス「青空キンドル」を利用）。ただし表示の調整は、ページ全体の拡大とコントラストの変更のみ。（ガールシン「四日間」）

※「青空キンドル」
<http://a2k.aill.org/>



JPG。画像の全画面表示。「Pictures」フォルダ内に任意のフォルダを作り、複数枚の画像を入れるとアルバムのようにめくれる。ZIPには対応していないが、Amazonの変換サービスを介して利用可能。

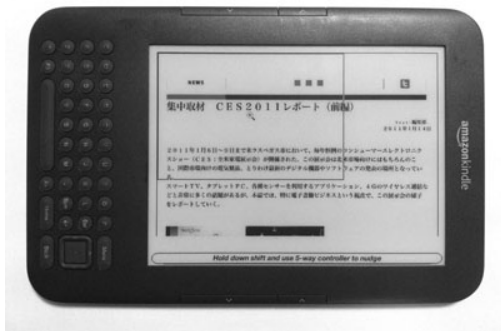


Kindle 3端末上の「Kindle Store」。機能を削ぎ落としたミニマルな作りだが、本の検索はPCのほうが行いやすいだろう。「Buy」ボタンを押すと即座に本がダウンロードされ、期限内であればキャンセルもできる。定期購読は14日の試読が可能。

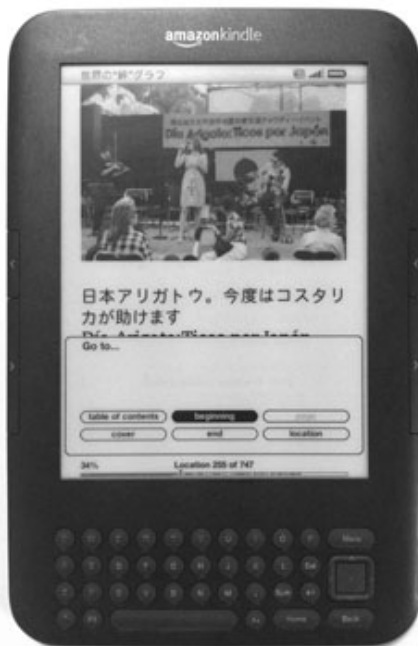
書店「Kindle Store」では、書籍を中心に雑誌、新聞、記事など約79万点が販売されているが、現状ではAmazon.comのアカウントで主に洋書の購入のみが可能となっている。一部、日本語の書籍販売も行われているが正式対応はしておらず、Amazon.jpの書籍は買えない。

「Kindle Store」へはKindle端末以外にもPCなどからアクセスでき、機能に若干違いがある。PCからは同一タイトルの紙の本を買うことができるほか、複数の端末を登録して各々に配信したり購入履歴を閲覧したりできる。端末間では、読書中のページやメモが同期される。

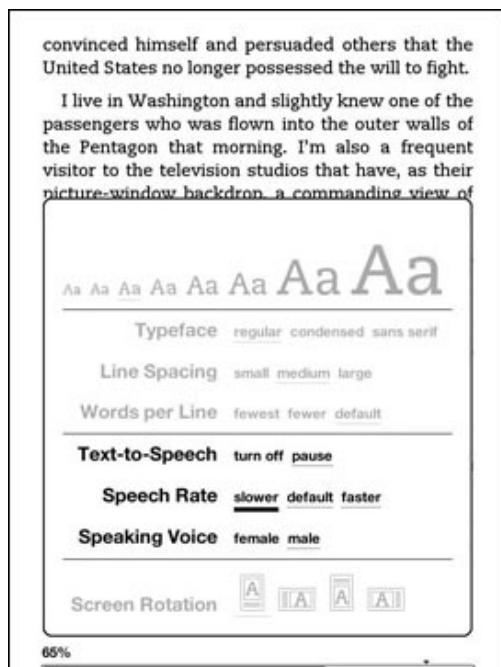
タッチパネルではないため、ページめくりなどの操作はすべてハードウェアキーで行う。前頁、次頁など、キーの方向は画面を回転させたときにも違和感がない。操作に対する反応はKindle 2よりは十分に速いが、iPad 2などと比較してしまうと表示の遅れやリフレッシュ（白黒反転して見える）が気になる人はいるだろう。一方、ハードもソフトもデザインがシンプルであるぶん隠れた機能が多く、ショートカットキーを覚えていないと快適に使いこなせない場合がある。



画面を横に設定。「H」が前頁、「V」が次頁となる。「5way コントローラー」の左右で章や記事間の移動ができる。スクロールやタッチ操作ができないため、画面拡大時に閲覧したい箇所を表示するのはなかなか難しい。(「OnDeck 2011年1月18日号」インプレス R & D、PDF)

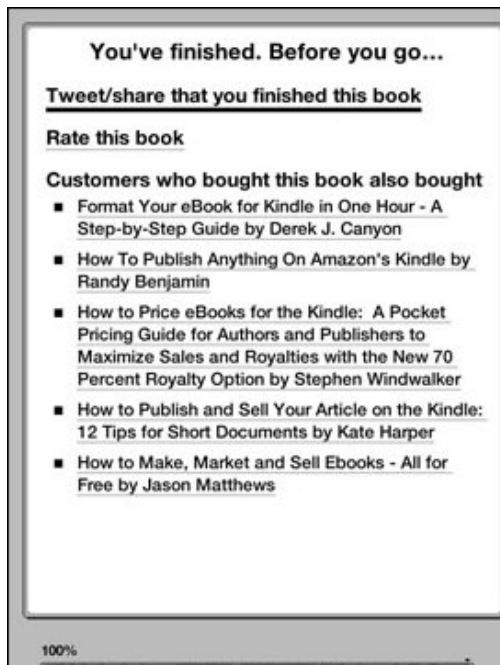


「Menu」の機能は書籍フォーマットや操作状況によって異なるが、本の冒頭や末尾への移動はおおむね可能。ページの閲覧履歴をたどるハードウェアの「Back」ボタンは便利だが、物理的に「Home」ボタンと近いせいか間違えて「Home」に戻ってしまい、本を開き直すことがしばしば。(「世界の“絆”グラフ」インプレス R & D、mobi)



音声読み上げ中はページめくりの「<」「>」ボタンは無効となる。Space キーや「Shift (↑) + Sym」で音声読み上げのオン/オフができることを覚えていないと、自分でページがめくれず迷子になる。(Christopher Hitchens "The Enemy" Kindle Single)

Kindle 3.1 で追加された機能としては、Twitter や Facebook などのソーシャルサービスへの投稿がある。また、多くの人が読書中にハイライトを付けた箇所や、他のユーザーが公開したノート (Public Notes) を参照することもできる。自分で行ったマーキングは、公開しなくても「Home」上に「My Clipping」として保存され、「本」のくくりなしに串刺しで検索ができるので引用や振り返りに重宝する。ただし、現状では日本語入力ができないため検索も英文が対象となる。



AWZの「end」ページ。ここから書籍を読み終えたことを投稿したり、Amazonにレビューを書いたりできる。読書中にも投稿用のショートカットは表示される。



本文検索機能。グーグルやウィキペディア、辞書、Kindle上のアイテムなども検索できるが、入力は英語のみ。PDFでも文字部分の検索は可能。('世界の"絆"グラフ'インプレスR&D、PDF)

読書用のツールは、「Menu」ボタンから呼び出して選択する。ページ下部には常に現在位置のインジケーションがあり、Kindle 3.1からは書籍にもよるが、紙の本の「ページ」、リフロー型の「ロケーション」、全体の割合「%」の計3種が表示される。Amazon独自の「ロケーション」のみより明快になったと言える。本棚は「Home」と呼ばれ、フォルダのような感覚で「コレクション」を作って本の整理ができる。



オーディオブック。ページ下部にはオーディオ再生用のコントロールが表示される。



「Home」が本棚。パソコンで作ったフォルダは「Alt + Z」で表示を更新すると現れる。

総評

<<< 読書の視点から

端末が薄く軽量、液晶のように光らないので可読性に優れ、長時間読書をしていてもあまり疲れない。ページめくりの速度や電子ペーパー独特のリフレッシュには慣れが必要だが、本に集中していればさほど気にならないはずだ。書店から購入できる AZW 形式の本には日本語がほぼない現状だが、mobi や PDF を自分で入れて読むぶんには日本語も読みやすい。音声読み上げや検索、ノートの共有がまだ英語のみなのが残念だが、洋書の読み上げを聞いたり辞書を参照してみるだけでも読書の仕方が広がるだろう。自分や他人のマーキングを一覧することで、得るものも増えると期待される。

「UI が英語で、ショートカットなどの隠し機能が多く、日本語コンテンツが少ない」と聞くと敬遠されがちだが、細かな改良が積み重ねられており、現状でも使い込んでいくと十分「読書」を楽しむことができる。

<<< 制作の視点から

「Kindle Store」で販売用の AZW 形式とまでいかなくとも、EPUB などから mobi への変換ツールなどを使用して日本語の Kindle 本を作ることができる。ただし、サポートされている HTML の要素や CSS のプロパティが限定されているため、特に表まわりの記述の仕方を勉強しないと読みづらいものができてしまう。文字化けが発生することもあるので表示は要確認だ。

PDFや画像系のコンテンツについても、紙のB5やA4判くらいに作られたものは文字が小さくなりすぎて読みづらい場合がある。タッチ操作やスクロールができないことを考えると、画面を拡大しながら読むのは至難の業だ。画像の余白を揃えるなどして、ページ間で位置がずれないようにする工夫も必要となる。

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■



OnDeck 実証実験

世界初！EPUB から自動組版で出版レベルのPDFを作成する

text : 編集部
2011年6月7日

電子雑誌から紙の雑誌を作ることはできるか？それも自動的に作ることはできるか？このテーマは創刊時から追求していたものだが、今号でやっと実現することができた。今回は、どのような手法で作成したかを紹介する。

キーワードは「TeX」

OnDeckのPDF版は、これまでAdobe Digital Editionsを利用して作成してきた。EPUBの雰囲気を残せるのはメリットだが、ページを画像で表現しているため、ファイルサイズがどうしても大きくなっていたのがデメリットだった。

InDesignなどのDTPソフトで再編集すれば、きれいなPDF版は作れるが工数が余分にかかってしまう。なによりも人手をかけて再編集するという行為は、電子雑誌にチャレンジする立場からすると負けた気分になるのがいやだったというのが本音だ。

これを解決する方法として選択したのが、自動組版ソフトの「TeX」。TeXはWindowsやMac、UNIXなどさまざまな環境で利用できるフリーの組版ソフトで、商用印刷にも使える

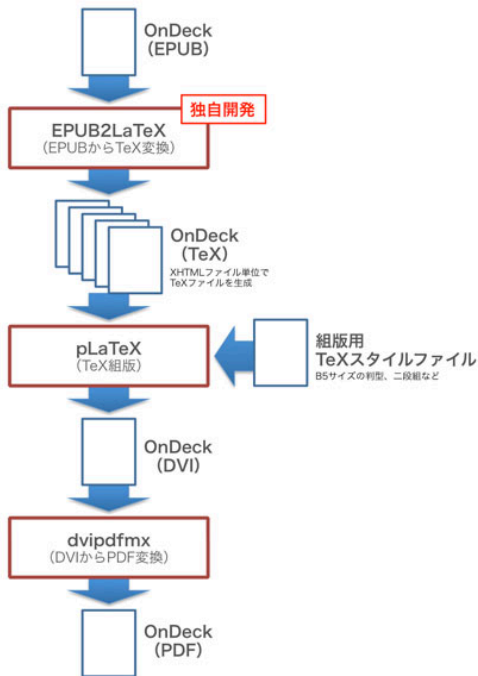
高度な組版を実現できるのが特長だ。特に数式の表現が得意であることから、大学などの学術機関を中心に普及している。インプレス設立の1992年に作られた最初の書籍「MS-DOS5メモリ活用パワーブック」は、このTeXを使って組版しており、実績のある技術だ。この「枯れた」技術により、EPUBが印刷可能なPDFに生まれ変わった。

自動生成の仕組み

TeXで組版を行うには、まず、文章の構造を指定する命令を書き込んだテキストファイル（TeXファイル）を用意する。次に、このTeXファイルと、別途用意した組版用のTeXスタイルファイルを使って、DVI形式のファイルが出力される。このDVIファイルには、紙面のどの位置にどの文字を配置するといった情報が書

き込まれており、表示するデバイスやプリンタに依存しない形式で記述されている。この DVI ファイルを元にして、PDF 形式に変換すれば、今回提供している PDF 版ができあがるという仕組みになっている。

今回、OnDeck が行った PDF への変換をまとめたのが次の図になる。



ポイントは、EPUB ファイルを TeX ファイルに変換する「EPUB2LaTeX」というプログラムだ。EPUB は複数の XHTML ファイルで構成されているので、この XHTML ファイル単位で TeX ファイルを生成するという方式を用いている。XHTML ファイルも TeX ファイルも似たような構造を持っているので、機械的な変換が可能だった。

組版用の TeX スタイルファイルは、PDF ファイルにすることを前提としてデザインされた。

判型は、iPad でみやすいよう B5 サイズを採用。また、読みやすくするために、二段組みで表現している。もちろん、スタイルファイルを用意すれば、A4 サイズにすることも、三段組みにすることも、また縦組みにすることも可能だ。



左が EPUB 版、右が PDF 版。

この記事が EPUB 版もしくは Kindle 版で読んでいる方は、ぜひ PDF 版もダウンロードして読んでみていただきたい。

デジタルファーストで紙の出版物は作成可能

EPUB ファイルを印刷クオリティの PDF ファイルに変換するというのは、弊社で調べた限り世界で初めての試みだ。

多くの出版社は DTP ソフトなどで組版された印刷データから電子書籍を作る努力をされていることとおもうが、発想を 180 度転換することで、作業工程は格段に省略できる。今回の取り組みはシンプルなものではあるが、日本の出版界にとっては大きな意味を持つことになるだろう。

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■



連載 黒船特許の正体【第5回】

アプリケーションのインテリジェントなダウンロード

監修：弁理士 松倉秀実

text：ビジネスコンパス 厚木勝之

2011年6月6日

電子出版の普及に応じて、特許出願数が急増。アップル社は2010年に米国で563の特許を出願した。日本においても、同年、特許庁のサイトから公開が確認できたもので31に上る。そこで電子出版のキーカンパニーであるアップル、グーグル、アマゾン3社が、日本で出願した特許から特徴的なものを紹介する（編集部）。

特許化は難しいが戦略的に重要な出願

iPhoneやAndroidが発売されたのが2008年。この特許出願は米国で2009年2月に出願されたものが基礎になっています。

この特許出願の内容については下記を読んでいただくとして、要はアプリケーションプログラムをネットからダウンロードする際に、iPhoneのOSやハードウェアのデバイスタイプに適合するか否かを判定して、適合するものだけにダウンロードを認める点が特徴といえます。

これは現在のApp Storeにも用いられている基本技術となっています。つまりApp Storeに

アクセスするとiPhoneかiPadかを判別してダウンロードできるアプリが選ばれる仕組みになっていますが、これも応用例でしょう。

ただ、デバイスタイプにしたがってアプリケーションのダウンロードを許可するような仕組みは、日本でもiモード等で2009年以前から知られていましたので（公知であったので）、このような大きな範囲で特許査定が認められることはないでしょう。

明細書や図面を見渡しても、2009年時点で一般的な技術ばかりであり、これらの記載の中から特徴点を抽出して特許請求の範囲を補正して特許にすることも難しいように思えますが、ライバルもAndroidマーケット等で同じ仕組みを採用していることから、アップルとしては、拡大しているAndroid市場を牽制するために、どうかしてこの特許を取得してきたいところ

でしょう。

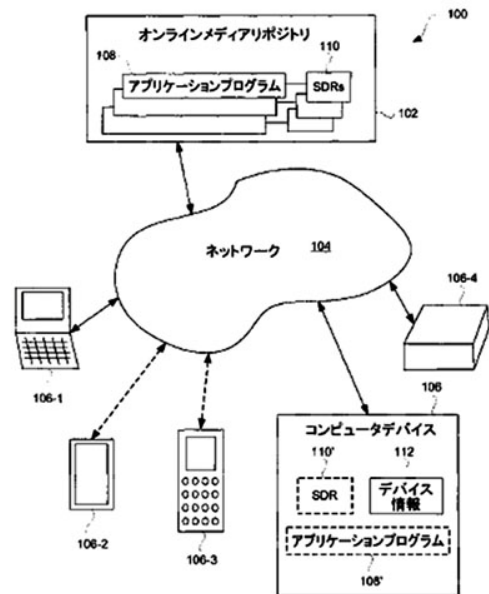
この特許出願は2010年4月に審査請求（特許庁に審査に係属させることを要求する手続）をしていますので、近々拒絶理由通知が送られてくることでしょう。アップルがその拒絶理由をどのように回避して特許化を目指そうとするのか、大いに注目したいところです（松倉先生のコメント）。

正しく動作するかを事前に情報を比較して判定する

アプリケーションプログラムは、もともと開発者によって、特定のコンピュータデバイス下で構築される。それ以外の条件でプログラムが適切に動作するかの保証はされないことが多い。

しかし、ユーザーは、必要最低限の条件を満たさないコンピュータデバイスにもアプリケーションプログラムをダウンロードすることがある。当然の結果として、アプリケーションプログラムは、そのコンピュータデバイス上では、機能したとしても、適切には機能しない。そしてユーザーは、その問題がコンピュータデバイスに起因するにも関わらず、アプリケーションプログラムに不満を持つ。

今回の発明は、アプリケーションプログラムをアプリケーションリポジトリからダウンロードする際に、ハードウェア性能が適したコンピュータデバイスだけにダウンロードを許可するように働く技術で、概要は次図となる。



図において、オンラインメディアリポジトリは、アプリケーションプログラムとともに、サポートデバイス要件（SDR）[110]を持つ。このSDRは、開発者によって規定され、アプリケーションプログラムがコンピュータデバイス上で適切に動作するために、コンピュータデバイスがクリアすべき最低限のデバイスの条件である。一方、コンピュータデバイスは、自身のデバイス性能に関する情報をデバイス情報[112]として持つ。

コンピュータデバイスは、ネットワークを介してオンラインメディアリポジトリにアクセスした時に、ダウンロード希望対象のアプリケーションプログラムに関して、アプリケーションを説明した情報と一緒に、サポートデバイス要件（SDR）[110]を受信する。

対象アプリケーションプログラムが、該当するコンピュータデバイス上で正しく動作するかどうかは、サポートデバイス要件とデバイス情報を比較することで判定される。

たとえば、コンピュータデバイスが、GPS システム、無線通信、マイク、スピーカなどのハードウェア構成要素を最低限有すること、また、コンピュータデバイスが特定のオペレーティングシステムなどのソフトウェア構成要素を有すること、関連ソフトウェアが最低限のバージョンを超えていることなどの条件がクリアされるかどうかなどを確認する。

判定の結果がOKであれば、引き続きダウンロードのステップに移る。判定の結果がNGであれば、NGであることや、その理由、判定がOKになるための条件の提示等をメッセージし、ステップを終了する。

このダウンロード管理のしくみを利用すれば、あらかじめ適切に機能しないことをユーザーに提示し、ユーザーが理解し、次善の対応を行うことで、適切にアプリケーションプログラムを機能させることができる。

アプリケーションプログラムのインテリジェントなダウンロード
【特許出願公開番号】 2010-182309 アップル インコーポレイテッド
ド：http://on-deck.jp/pdf/jpa_2010182309.5.pdf

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■



連載 EPUB の国際規格化ライブメモ【第7回】

EPUB3の成就是改善プロセスの始まり

text : 村田 真

IDPF EPUB WG/EGLS Coordinator
ISO/IEC JTC1/SC34/AHG4 Co-convenor
2011年6月8日

W3CのワーキンググループでXML1.0の仕様策定に中心的に従事し、現在、国内外の標準化団体で、EPUBの仕様策定に参画されている村田真氏に、日本の電子出版にとっても大きな影響力を持つ最新のEPUB仕様について伺った（編集部）。

IDPF Digital Book 2011において、EPUB3のProposed Specificationが公開された。これは大きなマイルストーンである。AmazonがEPUB電子書籍を受け入れるというニュースも入った。EPUBは、さらに一つ上の段階に入ったと言える。

しかし、EPUB3はまだ完成したわけではない。Proposed specification発表後も、一息つく暇もなく関係者は奔走し続けている。

1. EPUB3の国際規格化については、ISO/IEC JTC1/SC34/AHG4では三回目の電話会議を開催した。ISO TC46、IEC TC100/TA10、JTC1/SC34の三つが手を挙げている状況は変わっていない。今後、どのような形で進むかはまだ未定だが、EPUB3がISO、IEC、JTC2のいずれかで標準化されることはほぼ

間違いない。

2. 韓国では、EPUB2.0.1を韓国の国家規格とする作業を開始している。
3. W3CのCSS WGは、京都で対面会議を開催し、いくつかの点でCSS Writing ModesとCSS Textを変更することを決めた。新しいWorking DraftをEPUB3で採用するかどうか決める必要がある。
4. SVG 1.1（Second Edition）のWorking Draftが5/12に公開された。これを忠実に反映するスキーマを作成し、EPUB3に取り込まなくてはならない。
5. 書籍の右開きと左開きをどのようにEPUBで実現するかについては、いろいろあって意外に難しい。Proposed specificationの発表後に、良い手をElika Etemandと私とで思いついた。利点は大きいですが、この段階になって変

更することのデメリットも大きいので取り入れらるかどうかまだ分からない。今週は、この検討作業をする予定である。

編集部注

※本誌で掲載している情報は、2011年6月8日時点のものです。審議は進行中であるため、規格内容については、常にその時点での最新情報をご確認ください。

W3C：World Wide Web 標準化団体

IDPF：国際電子出版フォーラム団体

CSS：HTMLのスタイルを管理できる機能。カスケード・スタイルシートの略

ISO：国際標準化機構

IEC：国際電気標準会議

WG：作業部会

SC：小委員会 分科委員会

JTC1：技術委員会

AHG：アドホック・グループ

EGLS：国際的な複数の言語に対応させる作業部会

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

連載 US 電子読書風景【第7回】

ファストペンシルで電子写真集づくり

text : 山崎敦史
2011年6月6日

ソーシャル・パブリッシングサービスの「Fastpencil」の仕組みについて米国在住の山崎氏に聞いた（編集部）。

初孫が生まれたこともあり、非常にたくさんのデジタルフォトがたまってきた。PCで整理して、時々デジタルフォトビューワに移したりはしているのだが、どうも何か物足りない。と感じていた所、ファストペンシルのウワサを聞きつけた。



ファストペンシルは、コンテンツの編集やデザイン、レイアウト、挿し絵イラストから販売促進まで手助けしてくれるサービス。電子化してeBookを作成できるだけでなく、紙に印刷し

て製本したり、製本した本の販売まで手助けしてくれる。

編集やデザインは専門職の領域で、経験のない私のような出版の素人には、なかなか手に負えない。ために Word で文章を書いて、まとまったものを書籍に変換したところ、まったくの赤面の次第。でもファストペンシルなら、プロの支援を受けながら、プロジェクトとして良質のコンテンツ制作が行える。制作中のプロジェクトには、プロジェクトマネジャー、共同執筆者、編集者、レビューワの4段階にメンバーを指定することができ、コメントや加筆により作品を作り上げていくことができる。

ファストペンシルが興味深い点は、私が作成したコンテンツを、誰がアクセスすることができるかを指定できる点である。プロフェッショナルコンサルタントも含めて出来上がった作品を、一般に広く公開するか、限定した友人だけにするかを指定することができる。孫の Photo eBook は、もちろん家族や友人だけに限定しようと考えている。

ファストペンシルは、いろいろな可能性と示唆に富んでいる。さまざまなプレーヤーの役割のあり方、その関与の仕組み、ソーシャル出版の可能性、課金の妥当性など、これからも利用しながら新たな仕組みを模索していきたい。なお、ファストペンシルのeBookは、日本語もサポートしている。

※ファストペンシル (<http://www.fastpencil.com/>)

■ OnDeck 2011 年 6 月 9 日号掲載 ■

連載 Innovation from Internet 【第7回】

Togetter

膨大なツイッターの発言をテーマやコンテキストに沿ってまとめるサービス

text : 仲里 淳
2011年6月2日

このコーナーでは、従来の出版になかった、新しいコンセプトを持つ、インターネットのツールやサービスを紹介する。

「Togetter」（トゥギャッター）は、ツイッターのツイート（発言）をまとめるためのウェブサービスだ。「まとめられたツイートの閲覧」と「ツイートをまとめる機能」が主な役割になる。

「ツイートのまとめ」とは、最大140文字単位で投稿された任意のツイートを、並び替えたり、文字効果（色やサイズの変更）を加えたりして、1つのまとまりにすること。まとめられたツイートは誰でも閲覧可能で、まとめもツイッターユーザーならそのアカウントを使って自由にできる。



Togetter でまとめられたツイートの数々。テーマは多種多様で、まとめの数は現在14万以上。電子出版関連のイベント時のツイートをまとめたものもあり、情報収集ツールとしての実用性も高い。

ここ最近、ウェブ上にある膨大な情報を、何らかのテーマや文脈に沿って“まとめる”という行為が注目されている。「まとめ」「キュレーション」などと呼ばれることもあるが、その違いや定義はともかく、出版における編集に近いものにとらえるとよいだろう。「自分のブログ

で、あるテーマについてウェブ上の情報をまとめる」といったことは以前からあるが、Togetterの特徴は、まとめの対象がツイートに限定されている点だ。

東日本大震災では、震災時に有用な情報ツールとして注目されたツイッターだが、有益なものにできるかどうかは個々の利用者に強く依存する。ただ使うだけなら簡単だが、うまく使おうとすると奥が深いのがツイッターだ。その理由は、最大140文字という情報単位が小さいうえに、それらが散在していることだろう。

Togetterでは、そういった個々のツイートを、ユーザーが自ら定めたテーマや関連性に沿って編み上げる。ちょうど書籍の編集者が、テーマに沿って語録集を構成していくように。誰のツイートを拾うのか、発言のどこを強調するのかに、まとめる者の編集方針が反映されるという点も同様だ。ただし、ツイートを素材としているだけにまとめのテーマは多彩で、商業出版にはない、ツイッターらしさ、ウェブらしさを感じさせる。非常にパーソナルなものから、趣味や政治、最近なら震災や原発に関する真剣な議論まである。

まとめられたツイートは、テーマやタグで分類され、新着、注目といったさまざまな切り口で整理される。ツイッター上では把握が難しくても、Togetterを介することで必要な情報を“まとまり”として捉えることができるので、情報収集ツールとして優れている。また、ツイッターの今を俯瞰的に知ることでもある。

一方、まとめツールとしても優れており、それが利用者の数とまとめの数が急増している理由にもなっている。まとめる操作は簡単で、自分や他のユーザーのタイムライン、キーワード検索などで集めたツイートから、任意のものをピックアップするだけ。HTMLを書く必要も

なく、並び替えや文字効果（デコレーション）はマウス操作だけでできる。



例えば「kinzunagraph」で検索したツイート（左側）のなかから、「世界の“絆” グラフ」に関するものをドラッグ＆ドロップしてまとめ（右側）に並べる。これだけで、まとめが完成する。

出版と大きく異なるのは、発言元に確認をとり、権利関係を整理し、誤字脱字をチェックして……といった手続きなく、すばやくまとめられて公開されることだ。さらに、他のユーザーに自由に編集を許可することもできる。同じテーマに興味を持つ者、より精通している者に、まとめを手伝ってもらったり、引き継いだりできる。

メディアの取り上げ過ぎで、少々バブルの気配もあるツイッターだが、Togetterのような周辺サービスの存在によって、その価値は高められている。人々の膨大な声の集積であるツイッターを捉える切り口の1つとして、また、誰もが編集者になり得る時代のメディアとして、Togetterはとても興味深い。

Togetter
<http://togetter.com/>
運営：トゥギャッター株式会社

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載■

新刊紹介

電子出版への道-OnDeck アーカイブ Vol.1-絶賛発売中



従来は、出版された書籍や雑誌の印刷用データを、デジタルコンテンツ用に変換したものがほとんどでしたが、逆プロセスを実現した例はまれで、商業出版においては前例が見当たりません。今回、デジタルファーストで発行した電子雑誌を、印刷用データに変換して、リアルな雑誌として出版できたことは、デジタルデータのアーカイブを、紙の資産へ転用できることを意味することから、デジタルコンテンツを手がける企業、団体、個人にとって、紙媒体を出版するハードルが、劇的に低くなったと言えます。



EPUBをInDesignに変換して雑誌出版

本誌「OnDeck」Vol.1～Vol.5のエッセンシャルを、印刷用のDTPデータ形式(InDesign)に変換して雑誌出版物にした「電子出版への道」を4月20日より全国の有名書店で発売いたしました。

「電子出版への道-OnDeck アーカイブ Vol.1-」の特徴は、紙媒体の持つ一覧性を活かし、データと事例を満載したことです。客観的な調査データ集に加え、具体的に参考になる等身大の事例集で、電子出版ビジネスのスタートアップに、すぐに役立つよう工夫いたしました。是非ご覧ください。

本書の構成

第1部 電子出版革新が、来る！
電子書籍市場規模のジャンル別シェア
取次ルート of 出版販売額の推移
メディア別広告費の推移
電子書籍の市場規模の推移と対前年比
電子書籍市場規模のジャンル別内訳
日本の電子書籍の市場規模の推計
米国の電子書籍市場規模の推移
第2部 出版者の素朴な疑問、一問一答
MCBook「コンテンツ・ビューワ分離型モデル例」
書籍と電子書籍の印税率例
EPUB、XPDF、ドットブックの違い
米国の電子書籍市場の市場規模の推移
国内モバイルデバイス市場規模予測
第3部 電子出版産業勢力図
書籍と電子書籍の流通システムの違い
電子流通の仕組み
電子文書ファイルとフォルダを実用文具に置き換える
電子端末における文書フォーマットの位置づけ
第4部 電子雑誌マート研究
媒体別3年以内に電子メディアを読むか？
定期購読費24.95ドルの雑誌の電子版ならいくらが妥当か？
1冊6.95ドルの雑誌の電子版はいくらが妥当か？
6割の消費者がeリーダーかタブレットPCを購入予定

※調査データは、定評あるインプレスR&D社リサーチ部門の全面協力を得ました。

好評記事と人気連載から役立つ事例集を掲載

出版社や新聞社の電子化事例では、ダイヤモンド社/中央公論新社/文藝春秋/PHP研究所/産経デジタルのケーススタディを紹介。インタビュー記事では、IDPFのビル・マッコイ氏、編集工学研究所の松岡正剛氏、ポイジャーの萩野

正昭氏のキーマン3人から貴重なコメントを掲載しています。

「EPUB3ドラフト日本語仕様解説」、「電子書籍交換フォーマットの概要」、「EPUBの国際規格化ライブメモ」を掲載し、EPUBの最新レポートに加え、交換フォーマットの概要も掲載。資料性を高めた内容としました。

デバイスレビューとビューワレビューでは、GALAPAGOSやSony Readerなど最新の読書端末5機種と注目のビューワ4種を詳細にレポートしています。

誌名	電子出版への道 -OnDeck アーカイブ Vol.1-
発売日	2011 年 4 月 20 日
定価	1,680 円 (税込)
判型	A4 変形判
ページ数	200 ページ
責任編集	インプレス R & D
発行	インプレスジャパン
発売	インプレスコミュニケーションズ

詳細、本誌のご購入は、下記よりお申し込み
いただけます。

→ <http://www.impressjapan.jp/books/54203>

→ <http://www.amazon.co.jp/dp/4844330136/>

OnDeck_ad.20110609_impressrd

電子書籍新刊情報

~iTunes App Store

text : hon.jp

2011年6月6日

5月9日

- ・薄毛治療を始める前に【iPhone】
115円/Hiroshi Egami
- ・スペースコブラ（アニメ版）【iPhone】
350円/TMS Entertainment, Ltd.
- ・イタズラな Kiss（アニメ版）【iPhone】
600円/TMS Entertainment, Ltd.
- ・白雪姫は目覚めない【iPhone/iPad】
450円/Storyteller Co. Ltd.
- ・家族ランドリー【iPhone/iPad】
450円/Storyteller Co. Ltd.
- ・サンマークブックス for iPhone & iPad【iPhone/iPad】
0円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・日本棋院 i 碁 BOOKS for iPhone【iPhone】
0円/The Nihon Kiin
- ・おばかイヌ卒業ガイド【iPhone/iPad】
450円/portarte, inc.
- ・平井和正 狼の紋章【iPhone/iPad】
115円/LUNATECH Co., Ltd.
- ・BGM つきで運氣 120 % アップ！ 今日から始める
ハッピー音（on）マイライフ【iPhone/iPad】
115円/MMB, Inc.
- ・平井和正 狼の怨歌【iPhone/iPad】
350円/LUNATECH Co., Ltd.
- ・感動するイイ話【iPhone】
0円/TeamDAIHUKU

5月10日

- ・体温を上げると健康になる【iPhone/iPad】
1000円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・病気になるしない生き方【iPhone/iPad】
1200円/Sunmark Publishing, Inc.

- ・「原因」と「結果」の法則 4 輝かしい人生へ【iPhone/iPad】
1000円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・千円札は拾うな。【iPhone/iPad】
800円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・人生を変えたければ「休活」をしよう！ あなたの可能性がひろがる休日活用術【iPhone/iPad】
900円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・きっと、よくなる！ 2 [お金と仕事] 編【iPhone/iPad】
1200円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・心眼力【iPhone/iPad】
1200円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・水は答えを知っている【iPhone/iPad】
1000円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・僕を支えた母の言葉【iPhone/iPad】
600円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・情報を読む技術【iPhone/iPad】
900円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・あたりまえのことを バカになって ちゃんとやる【iPhone/iPad】
900円/Sunmark Publishing, Inc.
- ・災害がほんとうに襲った時/復興の道なかばで【iPhone/iPad】
0円/hagiwara Printing co., LTD
- ・花椿（for iPad/for iPhone）【iPhone/iPad】
0円/SHISEIDO
- ・ウサコちゃんとのりこちゃんのおはなし【iPhone/iPad】
450円/password, inc.
- ・地震の時の料理ワザ for iPad【iPad】
350円/SHIBATASHOTEN Co., Ltd.
- ・新サラリーマン金太郎【iPhone/iPad】
0円/Menue, Inc.
- ・support 岐阜【iPhone】

0 円/Yuya Nagatani

- ・危機管理・事業継続ガイド【iPhone/iPad】
350 円/ZEIMU KEIRI KYOKAI CO.,LTD
- ・ゴルゴ 13 ノベルズ 3 おろしや間諜伝説【iPhone/iPad】
1000 円/SHOGAKUKAN INC.

5 月 11 日

- ・仙台 Kappo ストア【iPhone/iPad】
0 円/PRESSART Co.,Ltd.
- ・青きひまわり【iPhone/iPad】
450 円/Storyteller Co. Ltd.
- ・グリフォン書店【iPhone/iPad】
0 円/Kovec,Inc.
- ・PANIC7COMIC【iPhone/iPad】
0 円/Byakuya-Planet Co.,Ltd.
- ・イエローハット Magazine アプリ【iPhone/iPad】
0 円/SONOSOFT
- ・コミック市場【iPhone】
0 円/Index Okinawa Corporation

5 月 12 日

- ・Holy Sword 口語訳【iPhone】
115 円/weijen tu
- ・かなもじ【iPad】
600 円/HARASHOW Interactive
- ・小ぐまのきょうだい おおいそがし【iPhone/iPad】
115 円/Mitsuo Takatori
- ・小ぐまのきょうだい ケーキをつくる【iPhone/iPad】
115 円/Mitsuo Takatori
- ・小ぐまのきょうだいのクリスマス【iPhone/iPad】
115 円/Mitsuo Takatori
- ・西原理恵子『はれた日は学校をやすんで』【iPhone/iPad】
115 円/LALEL Inc.
- ・市川染五郎の妄想歌舞伎デイズ【iPhone/iPad】
450 円/LALEL Inc.
- ・広重散歩（上）『江戸名所百景』（図 1～図 59 番）【iPhone】
450 円/Media Engineerrring Corporation
- ・広重散歩（下）『江戸名所百景』（図 60～図 118 番）【iPhone】
450 円/Media Engineerrring Corporation
- ・おつきさん【iPhone】

115 円/star moon

- ・Japan！ニュース【iPhone】
115 円/xudong zou
- ・歩くソウル 2011-2012【iPhone/iPad】
700 円/Mediaporta Co.,Ltd
- ・an エリア for iPhone（求人情報誌）【iPhone】
0 円/INTELLIGENCE.LTD
- ・リサイクル 宝物の 7 日間【iPhone】
0 円/Hiroyuki Eiha
- ・映画「八日目の蟬」公開記念アプリ【iPhone】
0 円/Shochiku Co., Ltd.
- ・修学旅行 53 の謎【iPhone/iPad】
115 円/MMB, Inc.

5 月 13 日

- ・トランスワールド スノーボーディング ジャパン+【iPad】
0 円/TRANSWORLD JAPAN
- ・やるブラ【iPhone】
230 円/Jake's Lab
- ・スコットのせんすいかん【iPhone/iPad】
350 円/Charly Playe
- ・ソラチャイナ中国語 09【iPhone】
0 円/sorachina.jp
- ・ABC のえほん for iPad【iPad】
600 円/NIPPON SHUPPAN HANBAI INC.
- ・【iPhone 版・無料版】谷川俊太郎 poem 「私の胸は小さすぎる」 iPhone・無料版【iPhone】
0 円/good idea inc.
- ・「ルール」のできるマネジメントの基礎【iPhone/iPad】
450 円/Travel Online Inc.

5 月 14 日

- ・へんしんママ【iPhone】
0 円/ROOTS, Corp.
- ・電撃コミックジャパン 創刊 2 号【iPhone/iPad】
115 円/ASCII MEDIA WORKS Inc.

5 月 15 日

- ・ルーデシア vol.01【iPhone/iPad】
0 円/talestune

5月16日

- ・ウサギとカメの仕事術【iPhone】
700円/digital harvest Co., Ltd
- ・男性不信 池松江美【iPhone/iPad】
600円/OHTA PUBLISHING COMPANY
- ・あなたは涙のでもほど良い妻でした ガンで亡くした愛する人へ、最後のラブレター【iPhone/iPad】
350円/password,inc.
- ・【iPad版・無料版】谷川俊太郎 poem 「私の胸は小さすぎる」 iPad・無料版【iPad】
0円/good idea inc.
- ・『普通じゃダメなんだ!』（すばる舎・ユニバーサルアプリ版）【iPhone/iPad】
0円/subarusya Inc.
- ・マイ・バック・ページ【iPhone/iPad】
600円/HoriPro Inc.
- ・おはよう おやすみ by DAD-WAY X RAINBOW BOOKS【iPhone/iPad】
115円/Primal Switch Co.,Ltd.
- ・人力経営【iPhone/iPad】
350円/Parade Inc.
- ・2011 年法学検定試験問題集 4 級 無料版【iPhone】
0円/株式会社商事法務
- ・傷だらけ日本経済につけるクスリ【iPhone/iPad】
900円/artdays
- ・アニメ一覧 完全版【iPhone/iPad】
115円/TeamDAIHUKU

5月17日

- ・手相の見方（活学活用面相）【iPhone】
115円/Lin Guang
- ・「ロボット」心理学 改訂版【iPhone】
700円/digital harvest Co., Ltd
- ・名盤の裏に記された真実 前編【iPad】
700円/Neocore Inc.
- ・名盤の裏に記された真実 後編【iPad】
700円/Neocore Inc.
- ・朗読執事〜マーク・ブック〜【iPhone/iPad】
0円/OTOBANK Inc.
- ・ベッドタイム・ストーリー【iPhone】
0円/Lisbon Labs
- ・ベッドタイム・ストーリー HD 画質【iPad】
0円/Lisbon Labs
- ・下ヨシ子の「流生命 福運相性」【iPhone】

0円/Jitsugyo no Nihon Sha, Ltd.

- ・漫画星コミックス【iPhone】
0円/NEC BIGLOBE Ltd.
- ・ひとで for iPhone【iPhone】
0円/Mother Corporation
- ・海 -umi- Saltwater Fly Fishing TOYKO STYLE【iPhone】
350円/furainozasshisha inc.
- ・一番かんたん キレイにやせる! カロリー事典【iPhone/iPad】
115円/SHINSEI Publishing Co., Ltd
- ・わたしのたからもの【iPhone/iPad】
350円/WAO CORPORATION
- ・FP2 級 学科 一問一答問題集【iPhone/iPad】
800円/Tokyo Interactive
- ・競馬 POG 虎の巻【iPhone/iPad】
350円/THE KOBESHIMBUN
- ・動物園の動物たち HD【iPad】
450円/AXELMARK INC.

5月18日

- ・ComicGlass [コミックリーダー]【iPhone/iPad】
230円/Ryusuke Hotta
- ・コタロー的不動産投資1【iPhone/iPad】
0円/hiroya nakame
- ・渋谷 DROP!! 001号【iPhone/iPad】
0円/hiroya nakame
- ・Latonia Saga 1 黄の呪石編【iPhone/iPad】
450円/Storyteller Co. Ltd.
- ・それは夢から始まった!?【iPad】
0円/Incom Japan co., ltd.
- ・ソラチャイナ中国語01【iPhone】
0円/ziyang zhou
- ・EXCLUSIVE & SALON Vol.10【iPad】
0円/BAUHAUS Inc.
- ・動画でわかる フットサル BEST トリック.【iPhone/iPad】
0円/NTT Solmare
- ・Free as a Bird【iPhone/iPad】
115円/azusashoin Co., Ltd.
- ・ハマコー 君たちが日本の未来を変えてみる!【iPhone】
700円/Investment Co., Ltd.
- ・一流芸能人がやっているウケる会話術【iPhone/iPad】
350円/Kou Publishing Company

- ・白雪姫 - 3D Pop-up Book 【iPhone】
230 円/lee hee suck
- ・エスコート・ランナー 司法書士桜木司織のスケッチブック 有限会社伊達一族編 【iPhone/iPad】
600 円/azusashoin Co., Ltd.
- ・TGC × ELLEgirl 公式デジタルブック 【iPhone/iPad】
115 円/F1 MEDIA, Inc.
- ・よっちゃんのやさしい英語レッスン 【iPhone/iPad】
350 円/Parade Inc.
- ・製造所固有番号検索 Lite 【iPhone】
0 円/NOHARA HISAYOSHI
- ・平井和正 狼のレクイエム 1 【iPhone/iPad】
350 円/LUNATECH Co., Ltd.
- ・平井和正 狼のレクイエム 2 【iPhone/iPad】
350 円/LUNATECH Co., Ltd.

5 月 19 日

- ・1st 流行雑誌 WFM 【iPhone/iPad】
0 円/Enews-Asia.com Ltd
- ・「おむすびころりん」中川ひろたかの名作おはなし絵本 4 【iPhone/iPad】
350 円/NEXTBOOK, Inc.
- ・JapanSepaktakrawFanApps 【iPhone】
0 円/グローバルエッジ株式会社
- ・ブラックジャックによろしく 【iPhone/iPad】
450 円/Isaona
- ・音声付バイリンガル絵本 ベアトリクス・ポッター童話集 【iPad】
350 円/Beijing DFHL Company

5 月 20 日

- ・猫の旅 地中海 【iPhone/iPad】
800 円/Kawade Shobo Shinsha Ltd. Publishers
- ・STYLE from TOKYO for iPhone 【iPhone】
0 円/Discover21, Inc.
- ・ニュートン ギャラクシー for iPhone 【iPhone】
115 円/Newton Press Inc.
- ・バイリンガル絵本 うさぎのピーターのおはなし 【iPad】
0 円/Beijing DFHL Company
- ・心の情報処理能力を向上させるための方法 【iPhone/iPad】
350 円/PARADE Inc.
- ・花田式超営業 【iPhone/iPad】

450 円/Azumi Publishing

5 月 21 日

- ・2ch まとめサイトビューア - MT2 【iPhone】
230 円/Trysail Inc.
- ・厳選雑学 90! 【iPhone/iPad】
115 円/Mic.9 Co., Ltd.
- ・意味がわかると怖い話 【iPhone】
0 円/saito hayato
- ・宿バイス VOL.0 目的別で選ぶ話題の宿 【iPhone/iPad】
0 円/portarte, inc.
- ・アラビア湾のマングローブ革命 【iPhone/iPad】
450 円/Parade Inc.
- ・製造所固有番号検索 【iPhone】
115 円/NOHARA HISAYOSHI
- ・放射能で首都圏消滅 for iPad 【iPad】
350 円/SANGOKAN, Inc.
- ・不況を生き抜く！28 歳のための経済学ドリル 70～基礎編～ 【iPhone/iPad】
230 円/AXEL Best Sellers

5 月 22 日

- ・ニュートン ギャラクシー 【iPad】
115 円/Newton Press Inc.
- ・あかり専科 AR 【iPhone】
0 円/KOIZUMI Lighting Technology Corp.

5 月 23 日

- ・牛津辞典 【iPhone】
230 円/YE HUA
- ・FP3 級 学科 一問一答問題集 【iPhone/iPad】
800 円/Hiroshi Momose
- ・月夜の照らす怪物 【iPhone】
0 円/arlecchino
- ・伏魔殿 【iPhone】
0 円/arlecchino
- ・TOEIC 990 【iPhone】
0 円/Atsushi Ishida
- ・未来の本 本のミライ 【iPhone/iPad】
600 円/ENTERBRAIN, INC
- ・Soma x Soma 【iPhone】
0 円/arlecchino

- ・撮影現場にきた女たち【iPhone/iPad】
350 円/Futami Shobo Publishing Co., Ltd.
- ・MALICIOUS another story — 誰が為の歌 — for iPhone【iPhone】
450 円/ULLUCUS HEAVEN Inc.

5 月 24 日

- ・ブクログ【iPhone】
0 円/paperboy & co. Inc.
- ・『今日から「暗示」で心がラクになる!』(すばる舎・ユニバーサルアプリ版)【iPhone/iPad】
800 円/subarusya Inc.
- ・えどたん【iPhone/iPad】
0 円/CAPCOM Co., Ltd
- ・ノマド出張仕事術【iPhone/iPad】
350 円/Jitsugyo no Nihon Sha, Ltd.
- ・オオカミおとことブルーベリーカップケーキ - 子供用語話本【iPhone/iPad】
230 円/Lucia Masciullo
- ・ソラチャイナ中国語 04【iPhone】
0 円/ziyang zhou
- ・「BiND の教科書」公式 BiND for WebLiFE * 4 逆引き式ガイド【iPhone/iPad】
0 円/Digitalstage Inc.
- ・月刊コミック Cawaii! Vol.0 創刊準備号【iPhone/iPad】
0 円/Shufunotomo Co., Ltd.
- ・2011 年 法学検定試験問題集 4 級【iPhone】
900 円/SHOJIHOMU Co.,Ltd
- ・タンタン【iPad】
0 円/Wheel Inc.
- ・月刊コミック Cawaii! Vol.1 創刊号【iPhone/iPad】
230 円/Shufunotomo Co., Ltd.
- ・SaddharmaHD【iPad】
450 円/AXPRIME Inc.
- ・ビジネスパーソンのための自由と自己規律【iPhone/iPad】
600 円/ZEIMU KEIRI KYOKAI CO.,LTD
- ・FP2 級 学科 一問一答問題集 無料版【iPhone/iPad】
0 円/Hiroshi Momose
- ・ぼやき猫時計 FREE【iPhone】
0 円/JackPot, Inc.
- ・Cello Love ニューヨーク・チェロ修行【iPhone/iPad】
450 円/Parade Inc.
- ・FOR JAPANESE HAIRDRESSERS 日本の美容師た

ちへ【iPhone/iPad】

800 円/Parade Inc.

- ・不況をチャンスに変える〜大開運!「恵み」のマネーバイブル【iPhone/iPad】
450 円/AXEL Best Sellers
- ・悪党は容赦なく斬る。私立探偵黒宮が難事件に挑む!「雪の夜に拾ったもの」【iPhone/iPad】
230 円/password,inc.

5 月 25 日

- ・聖書【iPhone/iPad】
0 円/LifeChurch.tv
- ・カレイドスター (アニメ版)【iPhone】
350 円/TMS Entertainment, Ltd.
- ・フリーソウル【iPhone/iPad】
115 円/Shumpei Ueyama
- ・聴いて読める本棚 AudioBook + e【iPhone】
0 円/Pan Rolling Inc.
- ・和のいろ・かたち 日本の染型【iPad】
600 円/Excite Japan Co.,Ltd.
- ・FANBOOKS【iPad】
0 円/Fanworks Inc.
- ・medboox【iPhone/iPad】
0 円/リプト株式会社
- ・モテリーマン講座 2【iPhone】
230 円/Mediashakers
- ・HANA-時計〜サウンドノベル〜【iPhone/iPad】
0 円/BUGWORM
- ・病は気から〜自分ノートのすすめ〜【iPhone/iPad】
350 円/E-Book Association Japan Co., Ltd.
- ・日商簿記 1 級理論暗記集ラストスパートカード【iPhone】
0 円/Net School CO LTD
- ・朝比奈みくろの Book ☆ Walker ナビ【iPad】
900 円/KADOKAWA SHOTEN PUBLISHING CO.,LTD.
- ・長門有希の Book ☆ Walker ナビ【iPad】
900 円/KADOKAWA SHOTEN PUBLISHING CO.,LTD.
- ・2030 年、日本壊滅。「サプリーメーター 〜最強戦士サプリーメーター現る!〜」【iPhone/iPad】
230 円/password,inc.
- ・サイコメトラー EIJI 完全版【iPhone/iPad】
0 円/Frontier NEXT Inc.
- ・コミック追跡者【iPhone】

- 115 円/Wun Fung Li
- ・オンナは苦手。【iPhone/iPad】
350 円/Adventure Hong Kong Company Limited
- ・HOW TO 自動車名義変更【iPhone】
115 円/AI international co., Ltd.
- ・どこ？ もりの なかの さがしもの【iPad】
900 円/Kodansha Ltd.
- ・放送作家になろう！～人気作家が語る体験的養成講座【iPhone/iPad】
115 円/AXEL Best Sellers
- ・強運【iPhone/iPad】
800 円/Tachibana Publishing, Inc.
- ・逆転就活術 それでも内定が欲しい君へ【iPhone/iPad】
350 円/IPress LLC

5 月 26 日

- ・新改訳聖書【iPhone】
3000 円/Sweden Alliance Christ mission
- ・聖書（リビングバイブル）【iPhone】
3000 円/Sweden Alliance Christ mission
- ・夜のともだち【iPad】
0 円/株式会社シーエスレポーターズ
- ・ニュートン 大宇宙観測【iPhone/iPad】
115 円/Newton Press Inc.
- ・バーチャファイター5 ファイナルショードウン オールコマンドリスト【iPhone】
0 円/SOFTBANK Creative Corp.
- ・白雪姫 - 3D Pop-up Book Lite【iPhone】
0 円/lee hee suck
- ・FB デザイン【iPhone/iPad】
0 円/Takuhito Sotome
- ・OgasawaraMagazine【iPad】
0 円/Asuka __ Studio
- ・ちょっと笑えない英語【iPhone/iPad】
0 円/Sui Sui, Ltd.
- ・ほっこりラブリーな癒し系アイドル。
NAKAYOSHI-1-『わんこ』 NAKAYOSHI-2-『にゃんこ』【iPhone/iPad】
350 円/password,inc.
- ・勘違いだらけの通説世界の食文化【iPhone/iPad】
115 円/LEED Publishing CO.,Ltd.
- ・アロマのある空間【iPad】
600 円/Nikkei Business Publications, Inc.
- ・とりどけい【iPhone/iPad】

- 350 円/Shinya Aiba
- ・読む！見る！九州新幹線 for iPad【iPad】
115 円/西日本新聞社
- ・世紀の復興計画 後藤新平かく語りき【iPhone/iPad】
700 円/take-1 Co.,Ltd.

5 月 27 日

- ・バンコク【iPhone】
600 円/sebastian juarez
- ・ブエノスアイレス【iPhone/iPad】
450 円/sebastian juarez
- ・リオデジャネイロ【iPhone/iPad】
600 円/sebastian juarez
- ・ドバイ【iPhone/iPad】
350 円/sebastian juarez
- ・(4) よくわかる天地創造 / 香山哲【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・(5) よくわかる天地創造 / 香山哲【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・魔法少女くるみちゃん / 田中六大【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・短編集 彼方の毛玉 / 田中六大【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・まひるの天使 for iPad【iPad】
0 円/CELSYS,Inc.
- ・Mahiru Angel (English) for iPad【iPad】
0 円/CELSYS,Inc.
- ・(3) くりから異聞 / 旅井とり【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・(4) くりから異聞 / 旅井とり【iPhone/iPad】
115 円/Blue in the face
- ・星の瞳のシルエット【iPhone】
0 円/Frontier NEXT
- ・こえほん～家族で音声録音できる紙芝居風絵本～【iPhone/iPad】
0 円/I-FREEK INC.
- ・軍艦島黙示録 vol.1 「軍艦島ベストビューポイント」【iPhone/iPad】
0 円/Atotok Inc.
- ・今こそ、孫子【iPhone/iPad】
450 円/AKATSUKI PRINTING INC.
- ・Blue 癒しの青～空の蒼 水の碧～【iPhone/iPad】
800 円/PHP Institute,Inc
- ・滝川クリステル「恋する理由」【iPhone/iPad】
0 円/Kodansha Ltd.

- ・ Evercomic 【iPhone】
0 円/Alchemic Play
- ・ 黒部峡谷 【iPhone/iPad】
115 円/Azumi Publishing
- ・ 白雪姫 - 3D Pop-up Book HD 【iPad】
350 円/lee hee suck
- ・ Support 岐阜 6 月号 【iPhone/iPad】
0 円/design office ni-ke

5 月 28 日

- ・ 白雪姫 - 3D Pop-up Book HD Lite 【iPad】
0 円/lee hee suck
- ・ 蝶々『アタラシイ女子の光！』これからの女子の幸
せはココ♪ 【iPhone/iPad】
800 円/SHOGAKUKAN INC.
- ・ UR @神奈川 【iPhone】
0 円/Cuore Co. Ltd.

5 月 29 日

- ・ 「ゴン太がくれた愛」 作/井武 四郎 【iPhone/iPad】
350 円/NKad Ltd.

5 月 30 日

- ・ 世界日報 for iPad 【iPad】
0 円/The Sekainippo Co.,Ltd.
- ・ ニュートン 昆虫のすがた 【iPhone/iPad】
230 円/Newton Press Inc.
- ・ Japan at the Venice Architecture Biennale 2010 : ...
【iPhone/iPad】
350 円/ART iT Co., Ltd.
- ・ ニュートン イオンのふしぎ 【iPhone/iPad】
230 円/Newton Press Inc.
- ・ 「ももたろう」 中川ひろたかの名作おはなし絵本 2
【iPhone/iPad】
350 円/NEXTBOOK, Inc.
- ・ 実録！ 刑務所の中 ～三代続いた元刑務官が明かす～
for iPhone 【iPhone】
350 円/Futami Shobo Publishing Co., Ltd.
- ・ 丑三奇譚 【iPhone/iPad】
115 円/Isaona
- ・ SEMPRE センプレ 【iPhone/iPad】
0 円/SEMPRE DESIGN CO.,LTD.
- ・ 新潟市総合情報誌「日本海政令市『新潟』」 【iPad】

0 円/Pressmedia

5 月 31 日

- ・ Nishiki Yoshimune illustrations vol.1 【iPhone】
230 円/ENTERBRAIN,INC
- ・ 松下幸之助「心得帖」シリーズ 【iPhone/iPad】
450 円/PHP Institute,Inc
- ・ 『見るだけ 30 分！！あなたに合った「聞く」「話す」
が自然にできる！』（すばる舎・ユニバーサルアプリ
版） 【iPhone/iPad】
0 円/subarusya Inc.
- ・ なぞかけ Q 【iPhone/iPad】
115 円/Medicome Co., Ltd.
- ・ 事を成す 孫正義の新 30 年ビジョン 【iPhone/iPad】
450 円/Jitsugyo no Nihon Sha, Ltd.
- ・ 八日目の 【iPhone/iPad】
450 円/CHUOKORON-SHINSHA, INC.
- ・ 経済学事始め 【iPhone/iPad】
350 円/MW Products
- ・ ゆるワル団 【iPhone/iPad】
0 円/Ippo Moriyama
- ・ 3 分で経済のウラがわかる！門倉式ドリル 【iPhone】
230 円/株式会社 Media Shakers
- ・ BIKERS MAGAZINES 【iPhone/iPad】
0 円/RIDE publication co.,ltd.
- ・ シャーロック・ホームズ全集 【iPhone/iPad】
115 円/PicoJoys Studio 2011
- ・ SPACE SHOWER MUSIC VIDEO AWARDS 2011
OFFICIAL GUIDE 【iPhone】
0 円/SPACE SHOWER NETWORKS INC.
- ・ マークトウェインの入選作品 【iPhone/iPad】
115 円/PicoJoys Studio 2011

6 月 1 日

- ・ 眠る森の中の王女 【iPhone】
230 円/Pil June Pak
- ・ 失くした裸 【iPhone】
450 円/One Plus One.Co.,Ltd.
- ・ オオカミおとことブルーベリーカップケーキ LITE
【iPhone/iPad】
0 円/Blue Quoll
- ・ 竹谷賢二のバイシクルトレーニング 【iPhone/iPad】
0 円/PLANTATION INC.
- ・ 紀伊國屋書店 Kinoppy 【iPhone/iPad】

0 円/Kinokuniya Co.Ltd.

- ・アイドル No.1 の座、獲得の秘訣。1 万人コンサート
実現なるか? ! 「アスール/ジングル=ベル」【iPhone/
iPad】

230 円/password,inc.

- ・らくごったあ! 【iPhone】

0 円/IDEA BUREAU Co. Ltd.

- ・ジェリー・アンダーソン シリーズガイド 【iPhone/
iPad】

0 円/K.K. DeAgostini Japan

- ・我、電子書籍の抵抗勢力たらんと欲す【iPhone/iPad】
800 円/Nakanishi Printing Company

- ・佐藤姓のルーツ—日本の苗字シリーズ 1 【iPhone/
iPad】

350 円/Arigillis Inc.

- ・ふくおか YOU 【iPhone】

0 円/fukuokaYOU

- ・BOX-AiR03 号 【iPhone/iPad】

350 円/ken nakano

- ・狼男だよ 平井和正 【iPhone/iPad】

115 円/LUNATECH Co.,Ltd.

- ・狼よ、故郷を見よ 平井和正 【iPhone/iPad】

350 円/LUNATECH Co.,Ltd.

6 月 2 日

- ・ロサンゼルス 【iPhone/iPad】

600 円/sebastian juarez

- ・ソウル特別市 【iPhone/iPad】

600 円/sebastian juarez

- ・なぞなぞ 【iPhone】

115 円/xuzhong he

- ・健美 Info 【iPhone/iPad】

0 円/SONOSOFT Inc.

- ・デコのおとしあな 【iPhone/iPad】

450 円/glam

- ・ブラックジャックによろしく Lite 【iPhone/iPad】

0 円/Isaona

- ・G アスタマガジン 【iPhone/iPad】

0 円/newcast inc.

- ・女神カタログ〜世界の神話を彩る女神達 【iPhone/
iPad】

350 円/EMA PUBLISHING,Inc.

- ・ANOHANA CHARACTER BOOK 【iPhone/iPad】

0 円/NRM Publishing, Inc.

- ・人気の古典文学 1 【iPhone/iPad】

115 円/PicoJoys Studio 2011

- ・人気の古典文学 2 【iPhone/iPad】

115 円/PicoJoys Studio 2011

- ・人気の古典文学 4 【iPhone/iPad】

115 円/PicoJoys Studio 2011

- ・人気の古典文学 5 【iPhone/iPad】

115 円/PicoJoys Studio 2011

6 月 3 日

- ・雑誌『relations.』16 (表紙:大沢たかお 特集:贅沢
な大人のためのイタリアン 本当に美味しいイタリア
ン) 【iPhone/iPad】

0 円/YAPPA Corporation

- ・みかんと月 - 熊くんの物語 【iPhone/iPad】

450 円/Ding Chen

- ・Sea Side Scape 【iPhone/iPad】

115 円/Azumi Publishing Inc.

- ・雪だるま - 熊くんはの物語 【iPhone/iPad】

450 円/Ding Chen

- ・おつメシ道場 【iPhone】

230 円/Mediashakers

- ・サトラレ 【iPhone】

0 円/Menue, Inc.

- ・ふうふうふ 【iPhone/iPad】

0 円/SANDBOX Co., Ltd.

- ・昆虫顔面図鑑【日本編】 【iPhone/iPad】

1200 円/Jitsugyo no Nihon Sha, Ltd.

- ・ネットスクールブックス 【iPhone/iPad】

0 円/Net School CO LTD

- ・あいうえおのえほん for iPad 【iPad】

600 円/NIPPON SHUPPAN HANBAI INC.

- ・てつてく日記 【iPhone/iPad】

0 円/SANDBOX Co., Ltd.

- ・あいうえおかるた for iPad 【iPad】

600 円/NIPPON SHUPPAN HANBAI INC.

- ・一杯いきますか!! 【iPhone/iPad】

0 円/Creation Advance Inc.

6 月 4 日

- ・いのちのあいうえお 【iPhone/iPad】

1000 円/Izumi Naito

- ・「おきなかぶ」中川ひろたかの名作おはなし絵本 5
【iPhone/iPad】

350 円/NEXTBOOK, Inc.

- ・「おおかみと7ひきのこやぎ」中川ひろたかの名作おはなし絵本6【iPhone/iPad】
350円/NEXTBOOK, Inc.
- ・プリンセス・トヨトミ【iPhone/iPad】
0円/Bungeishunju Ltd.

6月5日

- ・清水草一のクルマ MONO がたり【iPhone/iPad】
230円/PROTO CORPORATION

情報提供：hon.jp

■ OnDeck 2011年6月9日号掲載 ■

本誌のコンテンツについて

「OnDeck」をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。
本誌のコンテンツの取り扱いにつきまして、以下のとおりご案内いたします。

本誌のコンテンツ（情報・資料・画像・音声等）（以下「本コンテンツ」）は、有償又は無償で、株式会社インプレス R & D（以下「当社」）が認めた方法に従ってのみ利用することができます。本コンテンツは、個人的な使用の目的でのみ利用することができるものとし、当社の事前の書面による承諾なく、店舗、サイトなど不特定多数に利用させる場所、複製、貸与、公衆送信その他著作権法で認められている私的使用の範囲を超えて利用することはできません。

免責事項

当社は、本コンテンツの内容について、妥当性や正確性について保証せず、一切の責任を負いません。また、本コンテンツの利用にあたり生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。本コンテンツをご覧いただくためのアプリケーション等のインストールに必要な接続等の費用は、利用者の自己負担で行うものとし、

本コンテンツや URL は、予告なしに変更または中止されることがあります。当社は、本コンテンツの変更、追加、中断または終了によって生じるいかなる損害についても責任を負いません。

著作権

本コンテンツの著作権は、当社又は当該コンテンツの著作権者に帰属し、許可なく複製、転用、販売、蓄積等著作権法で認められている私的使用の範囲を超えて利用することはできません。また、本コンテンツの内容を変形、変更、加筆、修正等することは一切できません。本コンテンツに含まれる商標、ロゴ等は、当社または当該商標、ロゴ等の商標権者の商標です。本コンテンツには、TM マークまたは R マークは明記していません。これらを私的使用以外の目的で無断に利用することはできません。

ご利用にあたりお気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

※お問い合わせの内容によっては、ご返事にお時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

▼本誌に関するお問い合わせ先

株式会社インプレス R & D

〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地

E-MAIL: on-deck-info@impress.co.jp

TEL: 03-5275-1087 FAX 03-5275-9018



OnDeck 2011 年 6 月 9 日号

2011 年 6 月 9 日発行

Ver. 1.00

発行人 井芹 昌信

【発行】株式会社インプレス R & D

〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地



Powered by
電子出版システム研究所
Research by
Impress Innovation Lab.



Art Director
岡田 章志 +GY
Designer / Coder
塚本 由紀



Editorial Board
高木 利弘
中島 由弘



Associated Editor
錦戸 陽子
Editorial Director
福浦 一広
Editorial Producer
辻本 英二



Executive Producer
Editor in chief
井芹 昌信



An impress
Group Company